

令和6年度使用

小学校用教科用図書の
選定に必要な資料

教科用図書益田採択地区協議会

各発行者の記号は以下のとおりである。

A	東京書籍
B	大日本図書
C	開隆堂
D	学校図書
E	三省堂
F	教育出版
G	教育芸術社
H	信州教育出版社
I	光村図書
J	帝国書院
K	新興出版社啓林館
L	日本文教出版
M	大修館書店
N	文教社
O	光文書院
P	G a k k e n

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫		6. その他
A	<p>○カタカナの五十音表が5色に色分けされており、見やすくなっている。(1年下p. 22)</p> <p>○3年生以上の巻末に「音読する」「場面に着目する」「人物に着目する」「表現に着目する」「感想や考えを持つ」の観点に沿って学習できるよう、名作や現代的な物語を一覧で示している。</p>	<p>○2年生以上では4月を学習の基盤作りの期間として重視し、対話、情報の扱い、音読、ノート作り、デジタルノート作り、図書館活用を単元の中に位置付けている。</p> <p>○読みの単元と書く単元の繋がりが意識して構成されている。</p>	<p>○説明文教材では写真を大きくすることでインパクトをもたせ、内容への興味・関心を高められるよう工夫されている。(3年上p. 42, 下p. 8)</p> <p>○「新聞記事を読み比べよう」では、記憶に新しい東京五輪と同世代の選手の活躍を取り上げ、興味・関心をもって複数の新聞記事を比較できるよう工夫されている。(5年p. 93)</p>	<p>○図や表、グラフ等の資料を扱う単元が複数あり、資料を読み取る力や資料を使って話す力をつける工夫がされている。(5年p. 148, 161, 238)</p> <p>○海の環境問題やごみを扱った題材があり、海に面している益田市の実態に合っている。(6年p. 152-166)</p>	<p>○インターネットの投稿についての内容があり、情報の取捨選択が求められる児童の実態に合っている。(6年p. 90-100)</p> <p>○他教科との関連性が題材の最後に書かれており、児童が学習したことをその他の教科で生かすことができるよう工夫されている。</p>	<p>○「情報のとびら」では、4年で身に付ける情報の扱い方に関する内容を丁寧な解説している。(4年上p. 54-55)</p> <p>○文字取得でつまづきやすい特殊音節や助詞の学習上、児童の負担を軽減できるように、「多層指導モデルMIM」を取り入れている。(1年上p. 58)</p>	<p>○巻頭に学習の進め方として「見通す」「取り組む」「振り返る」の3段階が示されている。各単元でも、その流れを意識できるよう工夫されている。</p> <p>○学習に役立つデジタルコンテンツが多数取り入れられており、児童のタブレットでも実施可能な練習問題も用意されている。</p>
F	<p>○「作ろう学級新聞」では、紙面の構成図と割り付けの様子と実際の紙面の写真を順に掲載し、新聞作りの過程が見通せるよう工夫されている。(4年上p. 102-105)</p> <p>○分冊の教科書になっているため、軽量化され、学習が高度化する高学年においても取り組みやすい仕様になっている。</p>	<p>○「この間に何があった？」では、写真から違いを読み取る学習活動を通して、考えを広げたり言語化したりできるよう工夫されている。(2年下p. 20)</p> <p>○「落語ぞろぞろ」では、場面の様子や登場人物の特徴に応じて演じ分ける落語のよさを学びながら、速さや強さ等を考えて音読できるよう工夫されている。(4年上p. 77-95)</p>	<p>○「まんがの方法」では、知名度の高い漫画を複数載せて読み手をひきつける効果に着目できるよう工夫されている。(5年p. 90)</p> <p>○どの学年も上の初めの単元が子どもどうしが関わりながら、楽しく学習できる構成になっている。</p>	<p>○「ちいきの行事」では、調べて発表する言語活動が設定され、具体的な行事や携わる人々の思いや願いに触れることができる内容となっている。(3年下p. 74)</p> <p>○「すいせんしよう『まちじまん』」では、自分が住む町の自慢を調べて発表することとふるさと教育につながり、その後の単元もポスターづくりに生かせる流れになっている。(5年p. 58)</p>	<p>○「わたしたちの絵文字」では、その前の説明文の学習を生かし、絵文字を活用することについて友達と話し合う活動が設定されている。(3年下p. 22)</p> <p>○「インターネットでけんさくしよう」で、ネットを使う機会の多い現代社会において、調べる際の工夫や注意点等の情報リテラシーを考えられるように配慮されている。(5年p. 79)</p>	<p>○「くらしを便利にするために」「『便利』をさがそう」等では、手話やバリアフリーなど多様な見方ができるよう工夫されている。(4年下p. 81-101)</p> <p>○目次ではSDGsの具体的な目標が書かれており、学習内容と関連付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○「〇年生で学ぶこと」では、何を学び、どのような国語の力が身につくのか系統的に示され、一年間の学習の見通しが具体的に示されている。(3年下p. 4)</p> <p>○単元末の手引きは見開き2ページで、上段に学習の流れ、下段に児童の反応が示され、単元全体の流れを具体的に見通せるよう工夫されている。(3年下p. 52)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

国語 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○はじめの数ページは、絵だけで構成されており、想像をふくらませて、学習することができる。(1年上p. 1-8)</p> <p>○5・6年では、分冊ではなく1冊の教科書になっているため、巻末の言葉の広場や既習事項を児童が自分で確認しながら学習を進められるようになっている。</p>	<p>○「ぶんをつくろう」では、くっつき「が」と「は」が色が変えてあり、理解しやすくなっている。(1年上p. 42)</p> <p>○教科書のページの下段に、その単元で身につけたい力が確認できる欄が設けられており、児童が主体的に取り組めるような構成になっている。(5年p. 48, 68)</p>	<p>○「カンジーはかせの都道府県の旅2」では、キャラクターと一緒に全国を巡る旅をする設定で、漢字の習得を図ったり、いろいろな県への関心を高めたりすることができるよう工夫されている。(4年上p. 100-101)</p> <p>○「どちらをえらびますか」では、同じ年代の5年生の子どもと行く旅行は山か海かという誰もが考えやすいテーマを取り上げ、興味・関心をもてる内容になっている。(5年p. 104)</p>	<p>○2年生以上の「季節の言葉」では、季節に係する詩や俳句、言葉、文章が掲載され、季節を感じられると共に、様々な型の表現に親しめるようになっている。</p> <p>○「言葉の宝箱」で言葉を分類して語彙力を高めたり、「図を使って考えよう」で図やグラフ等情報資料の利点や活用を学んだりすることで、語彙を増やし、言葉を整理できるよう工夫されている。</p>	<p>○「ポスターを読もう」では、看板やポスターをとりあげ、身近な生活の中にある情報や伝え方を扱っている。(3年上p. 124)</p> <p>○提案する文章を考える題材では、デジタル機器との付き合い方について取り扱っており、日常的にデジタル機器に触れている児童の実態に合っている。(6年p. 76-81)</p>	<p>○「漢字辞典を使おう」では、音訓索引と部首索引と総画索引の3つの索引による漢字の調べ方を動画で示して、理解が図られるように配慮されている。(4年上p. 40-41)</p> <p>○2年生以上の巻頭において、国語での目標を決め、巻末では1年間の振り返りを行い、その力を今後にどう生かすかを考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○2年生以上の巻頭に「見通しをもつ」「問いをもつ」「ふりかえる」という学習の進め方が示されている。</p> <p>○2年生以上の「問いをもつ」では、単元の冒頭に発問を載せることで児童の主体的な学びにつながるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

書写 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○始筆、終筆の位置を星印や丸印で示されており、児童が意識して練習できるようになっている。(1年p. 6, 8, 2年p. 12)</p> <p>○1ページ分の大きな手本の隅に小さく朱墨の手本が配置され、単元で学ぶ内容が一目で分かるように工夫されている。(4年p. 15, 5年p. 11, 6年p. 11)</p>	<p>○目次やインデックスに学習事項が表記されており、系統性や既習事項、本時の学習内容をとらえやすくなっている。</p> <p>○似ているひらがなを続けて練習できるように系統性に沿って文字が並んでいる(1年p. 13)</p>	<p>○巻頭で日常の課題解決につながる流れをマンガで示し、目的意識を持って学ぶことができるよう工夫されている。(2年以上)</p> <p>○イラストをたくさん使って、親しみやすく学習に取り組めるよう工夫されている。(1, 2年)</p>	<p>○「文字といっしょに」のページでは、鉛筆や筆の作り方、応援メッセージや作家の自筆原稿などを載せ、生活と文字との関わりについて考えさせる工夫がされている。</p> <p>○浜田市の石州半紙、隣県の熊野筆を取り上げることで、自分の身近に「書写」があることに気づくよう工夫されている。(2, 3年 裏表紙)</p>	<p>○「生活に広げよう」では、「生活科のワークシート」や「原稿用紙」「はがき」を教材にして、他教科や実生活に活かされるよう工夫されている(2年p. 15, 3年p. 19, p. 26-27)</p> <p>○他教科等の学習と関連する教材にはリンクマークをつけ、書写で学んだことが他教科等で活用できるよう工夫されている。(4年p. 24-25, 5年p. 17, 6年p. 38-39)</p>	<p>○硬筆の練習用書き込み欄を左右に設けるなど、利き手の違いに配慮した構成になっている。(1年p. 4, 5, 6年p. 12)</p> <p>○授業や家庭学習等で活用できるように、運筆や学習のポイント等を閲覧できる二次元コードが掲載されている。</p>	<p>○単元ごとに学びのポイントを「書写のかぎ」として示し、巻末にその一覧を掲載して、児童が学んできたことを確認したり振り返ったりすることができるよう工夫されている。(2年以上)</p> <p>○「しよしゃの学び方」に合わせて見開き2ページで紙面を構成し、学習の流れが捉えやすいよう工夫されている。</p>
F	<p>○全学年B5判で、単元名と手本のページから始まり、次ページで学習のポイントが掲載されており、紙面構成が統一されている。(6年p. 12-13)</p> <p>○巻頭に授業の様子や日常生活で文字とかかわる場面の写真が掲載されており、学びをイメージできるように工夫されている。(全学年p. 1)</p>	<p>○「ますめのなかのかくところ」を教材としてとりあげ、小さく書く文字の位置を確認しやすいよう工夫されている。(1年p. 18)</p> <p>○用具の置き方や姿勢、後片付け等を9ページに渡り扱い、前学年までに学んだことを確認してから学習を進められるよう工夫されている。(4年p. 6-14)</p>	<p>○写真やカラー、イラストを多く取り入れられていて、児童の興味をひきやすい工夫がされている(1年p. 11, p. 31)</p> <p>○「知りたい文字の世界」では、平仮名の成り立ちやかるた、文字の始まりなど、文字について写真や図版を用いて紹介され、文字への興味・関心を高める工夫がなされている。(4年p. 40, 5年p. 26, 6年p. 18-19, 23)</p>	<p>○「しよしゃのたいそう」では、見開き2ページで点画の書き方を示し、運筆を確認できるよう工夫されている。(1年p. 45-46, 2年p. 10-11)</p> <p>○筆圧を3段階に分け数字と図で分かりやすく示したり、朱墨を大きく配置したりすることにより、運筆を捉えやすいように工夫されている。(3年p. 17)</p>	<p>○「おおきなかぶ」「かんじのはなし」等を取り上げ、国語科との関連が図られている(1年p. 19, p. 42)</p> <p>○「レッツ・トライ」では、習得した書写の力を他教科等で使う学習を示し、関連を図ることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「知っておこう」では、見学メモの取り方や手紙の書き方等、学習や日常生活に活用できる内容が掲載されている。(4年p. 52, 5年p. 42-43)</p> <p>○手本の右下に、運筆や学習のポイント等を閲覧できる二次元コード「まなびリンク」が掲載されている。</p>	<p>○1ページ内の情報量を多くして、書く時のポイントを詳しく丁寧に説明している。(3年p. 16-17)</p> <p>○めあてを青、ポイントを赤等、児童が必要な情報を認識しやすいような配色の工夫がなされている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

書写 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○「スタートブック」では、イラストや写真を多用しながら新しい学びについて分かりやすく説明している。(1年, 3年)</p> <p>○「たいせつ」では、学習のポイントを端的かつ視覚的に示し、巻末にもまとめることにより、学習の焦点化と系統性への工夫がなされている。(2年以上)</p>	<p>○文字を比較してどちらが良いか、理由と共に考えさせるページを取り入れ、児童が間違えやすい部分を意識できるよう工夫されている。(1年 p. 25)</p> <p>○「SDGsブック」では、書写の学習と日常生活とのかかわりについて児童が考えるきっかけとなる話題が掲載されている。(4年p. 20-24)</p>	<p>○「もっと知りたい」のページでは、書写の道具への興味を引き出している(3年p. 52-53)</p> <p>○「私の文字」では、著名人の文字とメッセージを紹介し、自分の文字を肯定的に捉え、学ぶ意欲につながるよう工夫されている。(6年p. 44-45)</p>	<p>○「しょしゃたいそ」や「せいりたいそ」により、書写の際の集中や姿勢の大切さを捉えられるよう工夫されている。(1年p. 4-5)</p> <p>○道具の扱い方、手入れの仕方等が、写真を載せながら丁寧に説明されている。(3年p. 4-5, 裏表紙)</p>	<p>○「書写広げたい」では、書写で学んだことを他教科で活用できるように、ポイントを朱書きで分かりやすく示すなどの工夫がなされている。(2年p. 20, 5年p. 11, 35)</p> <p>○「やってみよう」では、地域を題材とした教材を設け、読み手を意識して書写の学びを活用することができるように配慮されている。(4年p. 30-31)</p>	<p>○ひらがなの運筆動画により、入門期の1年生が字形や空間を意識して書くことができるよう工夫されている。(1年p. 14-16)</p> <p>○「ねらい」と「学習のまとめ」を紙面下部にまとめて示し、学習の流れやポイントを児童も指導者も捉えやすくなるように工夫されている。(3年以上)</p>	<p>○第6学年「書写ブック」では、小学校での書写の学びを日常生活に活用することを想定して、具体的かつ実用的な内容が図版等を用いて分かりやすく掲載されている。(6年p. 21-28)</p> <p>○1ページあたりの情報量が少なく、ポイントを絞って説明するように工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

社会 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○「まなびのポイント」により、授業でどのような活動を行えばよいのかが分かりやすく示してある。(3年p. 10)</p> <p>○5・6年の教科書は2分冊構成されており、6年は政治・国際編と歴史編と、資料内容が充実するとともに、重量負担にも配慮されている。</p>	<p>○3・4年では、古くから残る建造物や地域の伝統的な文化等を調べる学習を設け、地域に対する誇りと愛情をもてるよう工夫されている。(3年p. 34-36, 4年p. 96-103)</p> <p>○「市のうつりかわり」を表す3つの絵が見開きに収められており、今と昔の様子について比較しやすいよう配慮されている。(3年p. 116-117)</p>	<p>○学習場面に応じて、個別でも協働でも活用できる多様なデジタルコンテンツが用意されており、学習への興味・関心を高められるよう工夫されている。(4年p. 131)</p> <p>○「社会的な見方・考え方」について、キャラクターのイラストが見開きごとに示されており、児童に分かりやすい形となっている。(3年p. 11)</p>	<p>○6年「今に伝わる室町文化」では、雪舟が石見(島根県)を訪れたことが記載されている。(6年歴史編p. 58)</p> <p>○4年「きょう土の伝統・文化と先人たち」では、松江城の取り壊しの危機を救った人々のことや、松江城を活かしたまちづくりの事例がとりあげられている。(4年p. 128-129)</p>	<p>○「教科関連マーク」で、他の教科との関連が明示されており、教科横断的な視点から学習に取り組むことができるよう配慮されている。(4年p. 142)</p> <p>○「○○さんの話」を紙面や動画で設け、仕事や社会活動にかかわる人々の姿をとりあげ、共感的に人の生き方を学ぶことができるように工夫されている。(5年上p. 97)</p>	<p>○4年の表紙には「津和野の子鷺踊り」がとりあげられている。(6年歴史編p. 73)</p> <p>○SDGsや食料問題、情報化社会等、今日的な諸課題に関わる内容がとりあげられている。(6年政治・国際編p. 106-107, 5年上p. 118-119)</p>	<p>○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階が記載され、問題解決的な学習を進められるように工夫されている。(5年上p. 24-25)</p> <p>○まとめる場面では、多様な表現活動を示し、習得した知識や調べたことをもとに考え表現できるよう工夫されている。(6年歴史編p. 74)</p> <p>○「いかす」場面では、学習したことを生かして選択・判断をしたり、社会参画したりできる学習場面が設定されている。(3年p. 114-115, 4年p. 48-49)</p>
F	<p>○全学年教科書巻頭に「社会科で使う見方・考え方」の解説ページがあり、キャラクターが「見方・考え方」の働かせ方のヒントを語る形になっている。(3年p. 5, p. 21)</p> <p>○全学年巻頭の「社会科の学習を広げる」に、ICTの活用例が写真やイラスト、動画で紹介されている。(4年p. 2-3)</p>	<p>○「自分で調べて考える」では、児童が資料を選んで「ポイント」を手がかりに読み取り、個に応じた主体的な学びを促す配慮がされている。(5年p. 41)</p> <p>○歴史年表は、開くと古代から現代まで見える形になっている。また、裏面にイラストマップが掲載されている。(6年p. 74-76)</p>	<p>○6年の歴史学習のページには、従来あった白黒写真をカラー化した画像があり、学習意欲を高められるよう工夫がされている。(6年p. 220)</p> <p>○デジタルコンテンツ(まなびリンク)が示された所では、動画視聴やクイズができ、興味・関心を高められるよう工夫がされている。(4年p. 10)</p>	<p>○「日本の国土とわたしたちの暮らし」では、竹島が島根県であること等が記載されている。(5年p. 17-18)</p> <p>○「私たちの暮らしを支える政治」では、課題解決の例として松江市のコミュニティバスの事例が記載されている。(6年p. 44)</p> <p>○6年「室町文化と力をつける人々」では、雪舟が石見で活動し、亡くなることが記載されている。(6年p. 122)</p>	<p>○3年の巻頭では生活科からの接続を生かせる特設ページがあり、社会科への関心や期待が高まるよう配慮されている。(3年p. 4)</p> <p>○3年「わたしたちの市の歩み」では、初めに「かわる道具と暮らし」が位置づけられており、経験や体験を伴った学習から扱うような内容となっている。(3年p. 130)</p>	<p>○5年「自動車の生産にはげむ人々」では感染症の蔓延に伴う産業の課題についてとりあげられている。(5年p. 133)</p> <p>○3年の巻末では「わくわく社会科ガイド」のページがあり、調べ方やまとめ方が例示されている。(3年p. 164)</p>	<p>○「次につなげよう」で次時の問いが想起できるようになっており、単元を通じた追究ができるよう工夫されている。(3年p. 145)</p> <p>○全学年の巻頭で「学習内容」だけでなく、「追究の過程」を振り返るページがあり、自らの学び方について考えられるよう工夫されている。(6年p. 6)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

社会 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
L	<p>○全学年教科書巻頭に、社会科の学習の進め方を3つのインデックス「問題を発見する力」「問題を追究・解決する力」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力」で例示し、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。(全学年p. 2-3)</p> <p>○文章を正確に読み取れるように、本文を3つの役割に分けて示している。(6年p. 16)</p>	<p>○ごみ処理の大切な工程の説明や、大分市の「3きり運動」の紹介により、児童が生活の中で具体的な取組を想像しやすいよう工夫されている(4年p. 40-43, 48)</p> <p>○歴史年表の中に「自分の年表をつくってみよう」というコーナーが設定されている。(6年巻末)</p>	<p>○47都道府県についてのすぐろくがデジタルコンテンツとして設定しており、都道府県の位置や名称、特色に親しむことができるよう工夫されている。(4年p. 8)</p> <p>○学習する過程で新たに出了疑問を「さらに考えたい問題」として例示し、各単元の学びがさらに深められるよう工夫されている。(5年p. 263)</p>	<p>○隠岐国から都に送られた税の荷札が掲載されており、郷土の歴史に関心を向けられるよう工夫されている。(6年p. 94)</p> <p>○大正時代の自由と権利を求める動きについて、山田孝野次郎らの訴えを大きくとりあげてあり、人権・同和教育の学習として活用しやすいような内容となっている。(6年p. 191)</p>	<p>○6年の「新しい日本の歩み」では、日本や国際社会を取り巻く課題として、新型コロナウイルスの事例がとりあげられている。(6年p. 192, 225)</p> <p>○棒グラフが未習でも読み取ることができるよう絵グラフで表示されている。(3年p. 33)</p> <p>○5年の「自然災害から人々を守る」の単元では、地域の復興とそれに取り組む人々の活動の様子を重点的に取り扱っている。(5年p. 252-253)</p>	<p>○世界の諸課題への意識を高められるよう、解決するための取組が全学年で32箇所設けられている。</p> <p>○4年「日本の都道府県を旅してみよう」では、都道府県の名義と位置が学習できるページが設定されている。(4年p. 8-13)</p> <p>○全学年教科書巻末に、学習を振り返り、より確実に資質・能力を身につけるために役立つページを設定している。(全学年巻末)</p>	<p>○学習問題について考えを表現する例が紹介され、児童がノートやまとめカード、ワークシートを活用し、深い学びが実現できるよう配慮されている。(4年p. 64-65, 5年p. 75, 223, 6年p. 44-45, 160-161)</p> <p>○多面的な思考を育てる「深め合い」活動が漫画形式で設定され、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。(4年p. 70-71, 6年p. 30-35)</p> <p>○タブレットや図にまとめる等思考ツールを用いて考えを整理したり広げたりできるような様々な表現活動を提案している。(5年生p. 132-133, 139, 179)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

地図 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫		6. その他
A	<p>○全102ページの構成となっている。47都道府県を紹介する地図では、各都道府県の名産品と名所のイラストを載せるとともに、各地方ごとに都道府県が色分けされて表示されているため、各都道府県・地方名を視覚的に判別しやすくなっている。(p. 4-6)</p>	<p>○資料地図は、様々な特徴を捉えやすいように、多様なテーマの主題図が大きく表現され、整理された見やすい構成となっている。(p. 69-76)</p> <p>○「日本の歴史」では、日本と世界のできごとの関連を考えながら日本の歴史について学習できるように構成されている。(p. 77-80)</p>	<p>○学習内容と関連した4つのデジタルコンテンツがあり、教科書の内容に合わせて、地図と実際の映像で土地利用の様子を確認することができるようになっている。(p. 35, 42, 48, 51)</p> <p>○土地の高さが陰影をなくした明るい色合いで表現されている。土地利用について、畑、牧草地の多い地域には、地図記号が掲載されている。(p. 51)</p>	<p>○竹島について、地図内には竹島の拡大地図と写真、島についての説明が併記されており、竹島の現状と我が国の立場がよく分かるようになっている。(p. 25)</p> <p>○主題図「日本の伝統文化」では、美保神社がとりあげられている。(p. 81)</p>	<p>○「日本の自然災害」では、日本列島の地図内に近年の地震・台風・大雨等被害が大きかった場所が併記されている。(p. 97-99)</p> <p>○「アフリカ」では多様な動物、「ヨーロッパ」では様々な料理を紹介し、地図とその国の生活や文化との関わりがとらえやすくなるよう工夫されている。(p. 60, 62)</p>	<p>○二次元コードで表示されているコンテンツ「新編 新しい地図帳」では、各種白地図を活用することができるようになっている。</p>	<p>○地形の様子表現は、陰影をなくした明るい色合いとなっている。視覚的に理解しやすくなるよう、イラストや写真、俯瞰図を多用している。</p> <p>○資料地図のページでは、多様なテーマの主題図を大きく表現し、学習のねらいを明確にして理解しやすいように表記している。(p. 69-76)</p>
J	<p>○全132ページの構成となっている。47都道府県を紹介する地図では、各都道府県の名産品と名所のイラストとともに掲載している。(p. 4-6)</p>	<p>○資料地図は、様々な特徴を捉えやすいように、多様なテーマの主題図が大きく表現され、整理された見やすい構成となっている。(p. 95-110)</p> <p>○「日本の領土とそのまわり」、「洪水への備え」、「江戸」等主として高学年の学習内容に合わせた主題図が多く掲載されている(p. 31-32, 60, 69-70他)</p>	<p>○47都道府県のデジタル地図では、地形や産業等の主題図を簡単に表示できる。また、児童が興味・関心に応じて、都道府県クイズやパズル等の豊富なデジタルコンテンツがある。</p> <p>○地形の様子を、土地の高さによる色分けとカラーレリーフを組み合わせて表現している。(p. 33-80)</p> <p>○統計資料では、農産物や工業製品の生産量について、イラストとグラフを用いて表現し、傾向を把握できるよう工夫されている。(p. 111-114)</p>	<p>○竹島について、「中国地方」のページでは、拡大図と韓国との国境が示されている。「日本の領土とそのまわり」では、竹島の写真と島についての説明が記載されており、竹島の現状と我が国の立場がよく分かるようになっている。(p. 31-32, 39,)</p> <p>○主題図「日本の世界遺産」において、石見銀山が掲載されている。(p. 127)</p>	<p>○「日本の自然災害と防災」では、近年、災害が大きかった場所を示した地図や事例に加え、防災・減災への取組が記され、防災意識をもち自分の行動を考えることができるよう工夫されている。(p. 99-102)</p> <p>○持続可能な社会の実現に向けたSDGsの特設ページが設けられ、各地の取組や課題について理解できるようにしている。(p. 125)</p>	<p>○二次元コードで表示されているコンテンツ「楽しく学ぶ小学生の地図帳」では、地形や産業等の主題図を豊富に使用することができ、各ページの内容を補完する役割を果たしている。</p>	<p>○全体的に学習の段階を意識した構成となっており、導入期の3年生での利用を意識したページが位置付けられている。</p> <p>○高学年の学習内容を補完する内容の地図や資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○地形の様子を捉えやすくなるように、立体感のある地図表現にしたり、場合によっては山間部や丘陵部をイラストで表現したりする等の工夫をしている。(p. 50, 71-72)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○授業の展開や児童の思考の流れを想定し、問題解決のための図や発問等が可視化され、段階的に学べるよう工夫されている。(4年下p. 50-55)</p> <p>○「たしかめよう」では基礎的な知識・技能を身に付けるようになっており、「ほじゅうのもんだい」では個に応じた分量、難易度の問題に取り組めるようになっている。(6年p. 236-247)</p>	<p>○吹き出しに「同じように考えると」が付記されており、児童が自ら既習を活用して解決することを促している。(4年下p. 27)</p> <p>○「それなら次は？」では、問題解決の過程を振り返り、新たな課題を見出し、解決の計画を立てて実行する力を育むよう工夫されている。(3年上p. 50)</p>	<p>○「オープニングムービー」では児童にとって身近な物等を扱い、学習への興味・関心が持てるよう工夫されている。(6年p. 120)</p> <p>○統計単元について、身の回りの事象を統計的に解決する活動を設定している。(3年上p. 66-79)</p>	<p>○割合について2年から分数と関連づけたり倍を扱ったりして素地を培い、段階的、系統的に理解を図るようになっている。(2年下p. 40, 3年下p. 76他)</p> <p>○3年以上の各巻に「かたちであそぼう」が設けられており、さまざまな図形にふれ、図形感覚を養うよう工夫されている。(3年下p. 106, 6年p. 234-235)</p>	<p>○4年以上の「算数で読みとこう」では「防災」「地球温暖化」等、他教科等と関連付けられたテーマが扱われている。(4年下p. 116-117, 5年下p. 122-123)</p> <p>○低学年の学習場面は、生活科等と関連を図り、教科横断的な扱いができるようになっている。(1年①p. 35, 2年上p. 86-87)</p>	<p>○「わたしと算数」では、世界で活躍する方々と算数との関わりを知り、算数の身近さや有用性を味わえるようになっている。(5年上p. 2)</p> <p>○「速さ」の学習では、教科書の図をさらにシュミレーション動画作りでより理解できるように工夫されている。(5年下p. 36-37)</p>	<p>○単元の導入場面に「オープニングムービー」、「単元プロローグ」が設定され、写真や動画を用いて児童がイメージしやすいようになっている。学習意欲が高まるよう工夫されている。(4年下p. 50)</p> <p>○図形や図等を操作して思考するシュミレーションが随所に設定されており、数学的活動を促す工夫がされている。(1年②p. 120-124, 5年上p. 21)</p>
B	<p>○2年以上の教科書が1冊で構成されており、振り返りや学びなおし、学習の見通しが持ちやすいように配慮されている。</p> <p>○単元末の「たしかめ問題」には「学びのサポート」(単元の解説動画)や「チャレンジ」(発展的な問題)があり、個に応じて取り組めるようになっている。(3年p. 99)</p>	<p>○「じっくり深く学び合おう！」は、授業の流れが写真等で詳細に記述されており、授業展開や協働的な学びを具体的にイメージできるように工夫されている。(5年p. 27-31)</p> <p>○問題解決の過程を示したタグが付いており、学び方が分かるよう工夫されている。(4年p. 135)</p>	<p>○単元導入で「アプローチページ」が設けられており、児童自身が疑問や課題が見い出せるよう工夫されている。(2年p. 106-107)</p> <p>○3年生以上に「ふくろう先生」のなるほど算数教室が設定されており、算数のおもしろい問題やSDGs等算数が社会で生かされていることを実感できるような話題が扱われている。(6年p. 30, p. 226-240他)</p>	<p>○「読み取る力をのばそう」では、全国学力調査等で課題とされている文章や図・グラフを読み取る力や、考えを表現する力を育成できるよう工夫されている。(4年p. 34-35)</p> <p>○2年以上の巻頭に数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」として、問題によって使い分ける様々な見方・考え方を「ひらめきアイテム」として掲載している。(3年p. 10-12)</p>	<p>○他教科に関連した活動・題材や統計資料が扱われていることをマークで示し、児童が意識できるよう工夫されている。(5年p. 188)</p> <p>○身の回りから算数を探したり、算数を活用したりする活動が掲載されており、家庭や地域でも算数を活用する態度を育成できるよう工夫されている。(2年p. 102)</p>	<p>○プログラミングに触れる活動が設けられており、情報活用能力や情報モラルについて学べるよう工夫されている。</p> <p>○「おうちで算数」が設けられており、学習したことを家庭や地域の生活にも生かすよう工夫されている。(1年②p. 107)</p>	<p>○「算数の学び方」では、対話的な学びの方法を示したり、学習を発展的に広げたりすることが示されており、児童自ら学べるよう工夫されている。(2-6年p. 6-9)</p> <p>○数学的な見方・考え方をキャラクターで示したり、問題ごとに使い分ける見方・考え方は「ひらめきアイテム」として設定し、数学的な見方・考え方について児童が意識できるよう工夫されている。(2-6年p. 10-15)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○解決方法を考えさせるときの手立てが吹き出しに書かれており、児童が考えながら学習を進められるよう工夫されている。(3年上 p. 56)</p> <p>○6年で別冊をつけ、小学校の内容を振り返るとともに、中学校の内容の一部に触れられるようになっており、中学校の学習へのスムーズな移行ができるよう配慮されている。</p>	<p>○ゴム自動車の進む距離を調べる学習では、児童が自然と対話したくなる課題設定をし、長さの測り方について様々な考え方ができるよう工夫されている。(3年上 p. 88)</p> <p>○「できるようになったこと」では学習の定着が図られ、「まなびをいかそう」では活用の力をつけることができるよう構成されている。</p>	<p>○算数の学びに特に重要だと考えられる9つの「見方・考え方」を9体の「考え方モンスター」へキャラクター化させ、モンスターを見ながら学ぶ工夫がなされている。</p> <p>○単元の導入は漫画のような形式で示されており、学習意欲が高められるよう工夫されている。(3年下 p. 38)</p>	<p>○全国学力調査の正答率が低い内容や、児童がつまずきやすい内容を「算数パトロール隊」で確認できるようになっている。(4年下 p. 73)</p> <p>○「図や表を使って問題を考えよう」では、問題解決にあたって、図や表等をよりよく活用し系統的に学習できるよう工夫されている。(3-6年)</p>	<p>○「算数をつかって」では、SDGsとの関連を図るだけでなく、自己評価としてパフォーマンス評価ができるよう工夫されている。(3年下 p. 71)</p> <p>○「もっと算数」の「ふかめよう」では、学んだことを使って、生活の中の問題を解決しようとする態度を育てようとしている。</p>	<p>○表紙は、日常生活にあるものと小さい人形を一緒に写すことで、算数が身近に感じられるよう工夫されている。</p> <p>○2年上から6年別冊までの「○年生で見つけた見方・考え方」を一枚のマップにすることができ、見方・考え方の連続性と系統性を視覚的に捉えられる。</p>	<p>○「考え方モンスター」により、問題解決において働かせる数学的な見方・考え方を意識して、6年までの学習を意欲的に進められるようになっていく。(3年 p. 162)</p> <p>○「もっと算数」の「ふかめよう」では、学んだことを使って生活の問題を解決することで、算数は日常生活と深く関わっていることを感じられるよう工夫されている。(3年下 p. 158)</p>
F	<p>○たしかめの問題に、3種類の表情で自己評価ができるようになっており、自分の理解度を表現できるよう工夫されている。</p> <p>○「つながるミカタ」を単元内に設け、見いだした考え方を次の問題解決に再度活用することで、学びを深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「?はてな」⇒「!なるほど」⇒「!?!?」と色つきで示されており、問いを見つけ、解決し、広げようという流れで問いをつなげる展開となるよう工夫している。</p> <p>○教科書の最初に「算数が好きになるはじめる一歩」という教材を特設しており、楽しみながら授業開きができるよう工夫されている。</p>	<p>○デジタルコンテンツが豊富であり、個で学習を深めたり、アニメーションによって視覚的に理解を深めたりできるよう工夫されている。</p> <p>○単元末に4コマ漫画を掲載し、単元で学んだことを楽しく分かりやすく振り返られるよう工夫されている。</p> <p>○単元末に「学んだことを使おう」のコーナーを設けており、学んだことが日常生活でも生かせることが実感できるよう工夫されている。(5年 p. 187)</p>	<p>○全国学力・学習調査をふまえて、つまずきの見られる問題を授業の中で丁寧に扱えるようにしたり、マークをつけて意識化したりしている。(3年上 p. 107, 5年 p. 214)</p> <p>○「学びのマップ」や「学びの手引き」で既習内容とのつながりを示しており、関連する内容の振り返りができるよう工夫している。</p>	<p>○社会科や理科と関連づけられており、教科同士のつながりを感じることで構成になっている。(4年「大きな数」「折れ線グラフ」他)</p> <p>○4年の「整理のしかた」では、実生活とつながる内容となっており、この単元で学んだことを生かして、自校の実態を調べたいと思えるよう工夫がされている。</p>	<p>○SDGsや環境問題、防災等、現代的な諸問題に対する意識が高められるような問題を取り入れている。</p> <p>○巻末には「○年のまとめ」の問題の他に、「自分で取り組むページ」のコーナーが設けられており、個に応じた学習ができるよう工夫されている。</p>	<p>○学びに向かう力が育つよう問いを見つけ、解決し、広げようという展開を学びのサイクルとして位置付けている。</p> <p>○思考力、判断力、表現力が育つよう数学的な見方・考え方のつながりが見える「つながるミカタ」や「4コマ漫画」を取り入れている。また「学んだことを使おう」では学習と日常をつなげている。</p> <p>○知識・技能が習得できるようデジタルコンテンツを豊富に取り入れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算数 No. (3)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
K	<p>○発達段階に合わせて、図や説明文以外に、イラストでも抽象化しやすくできる内容の配置になっている。(2年上p. 50)</p> <p>○デジタルコンテンツ(二次元コード)を開くと、その単元の復習がすぐ表示される。</p>	<p>○毎時間「めあて」と「まとめ」の言葉を使い、色も使い分けてあるので授業の流れが認識しやすい構成になっている。</p> <p>○単元導入前に「学びのまとめ」で既習内容を復習できるよう工夫されている。</p>	<p>○単元導入時に「じゅんぴ」としてデジタルコンテンツを使用できる。</p> <p>○ページ右上に単元名が示されており、毎時間目に入る。</p> <p>○具体物が身近な「お金」を使用しており、普段の生活からイメージが湧きやすい。(2年下p. 89)</p>	<p>○登場する人物が日本人だけでなく、外国の人も頻繁に出てくるため、国際的であり、現代に沿っている。</p> <p>○問題数が豊富な単元が多いため、実態や課題に合わせて調整することができる。</p>	<p>○野菜の写真やお楽しみ会のイラスト等、発達段階に合わせた身近な資料から、視覚的に他教科へ話題をつなげられる。(2年下p. 62-63等)</p> <p>○低学年では、生活科につながるイラストや問題の掲載が豊富である。(2年上p. 72等)</p>	<p>○単元を学ぶ時期によって、その時期の行事がイラストで掲載され、季節感を味わえる工夫がある。</p> <p>○索引では、単位だけでなく「1単分量」でも検索できるよう工夫されている。(2年上p. 134)</p>	<p>○写真やイラストにおいて、彩りを含めて興味をひきやすく、視覚的に教科書に親しみをもてる。</p> <p>○単元導入前の「まなびのまとめ」や復習が豊富で、新単元に入る前に自然とスモールステップを踏めるよう構成が工夫されている。</p>
L	<p>○数学的な見方・考え方が明記されており、見通しを立てたり論理的に思考したりするための着眼点となっている。(3年上p. 128)</p> <p>○「わかっているかな」、「たしかめよう」、「次の学習のために」といった段階がわかりやすい構成となっており、つまずきの発見や基礎的・基本的な内容の定着を図るようになっている。(3年下p. 33-35)</p>	<p>○ペアでの対話のモデルをイラストと吹き出しで提示することで、対話を促そうとする工夫がされている。(3年上p. 76)</p> <p>○「かけ算のきまりをみつけよう」の単元では、おはじき入れを題材とすることで、自分や相手の得点を求めたという児童の必要感到る。(3年上p. 12-14)</p>	<p>○「次の学習のために」では、二次元コードからヒントと答えにアクセスすることができ、家庭学習でも前学年までの内容を復習できるよう工夫されている。</p> <p>○数学的な見方・考え方を含めた、学習材に即した具体的な思考の過程を丁寧に示しており、学習のイメージがふくらみ、関心をもてるよう工夫されている。(5年p. 23-25)</p>	<p>○「自分でみんなで」では、数、式、図等さまざまな表現方法を用いた説明を学ぶことができる。(3年下p. 9-11)</p> <p>○子どもがつまずきやすい内容について「まちがいやすい問題」として掲載し、全国学力調査において正答率が低い問題を重点的に取り扱っている。(5年p. 239)</p>	<p>○「使ってみよう」では、学習したことを生活の場面に生かす、算数の楽しさや意義を実感できるよう工夫されている。(3年上p. 78-79)</p> <p>○「算数ジャンプ」では、家庭科等他教科や水の節約等日常生活とも結びつけた総合的な算数の問題を取りあげる工夫がされている。(6年p. 142, 196)</p>	<p>○5・6年の教科書には教科担任制を想定し、学びの現在地を示すスピン(しおりひも)をつけるよう工夫されている。</p> <p>○「かずやかたちでたのしく」では、幼児期の活動と算数のつながりが絵本仕立てで描かれている。学習への期待と安心感を抱けるようになっている。(1年①p. 1-13)</p>	<p>○各単元及び巻末の構成が学習の到達度を把握しやすいものとなっており、基礎的・基本的な内容の定着を図るようになっている。(6年p. 251)</p> <p>○「算数ジャンプ」では、家庭科等他教科や水の節約等日常生活とも結びつけた総合的な算数の問題を取りあげるよう工夫されている。(6年p. 142, 196)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

理科 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○全学年、1年間を通してどんな学習をしているか見直しをもてるようになっている。(全学年p. 2-3)</p> <p>○全学年の巻末に「理科の調べ方を身につけよう」を特設し、実験や観察を行う際の器具の使い方や活動の進め方などについて、いつでも確認できるよう記載している。(3年p. 162-171)</p>	<p>○「魚のたんじょう」では、写真とガイド役のイラストを効果的に配置し、学習への興味や目的意識が高まるようにしている。(5年p. 38-39)</p> <p>○「大地のつくり」では、系統性のある既習の学習内容を示し、必要に応じてフィードバックできるよう工夫されている。(6年p. 90)</p>	<p>○「チョウのかんさつ」の終末「ふりかえろう」では、ノートまとめ方について手書きを基調にしたモデルで示し、児童が興味と学習への見直しをもって取り組むことができるよう工夫されている。(3年p. 33)</p> <p>○「魚のたんじょう」では、たまごから稚魚への成長の流れについて、分かりやすく写真を並べている。(5年p. 44-45)</p>	<p>○「じしゃくのせいしつ」では、パソコンなどの身近な電気製品に磁石が使われていることを紹介し、磁石への興味がさらに深まるようにしている。(3年p. 157)</p> <p>○「変わり続ける大地」では、ユネスコ世界ジオパークとして知夫赤壁の写真があり、学習が身近なものになっている。(6年p. 118)</p>	<p>○「物のあたたまり方」では、終末にコンビニエンスストアなどに設置されたふたのない冷凍庫の仕組みを紹介し、学習を実生活の場面につなげている。(4年p. 147)</p> <p>○「台風と気候の変化」では、終末に台風へ備える方法を紹介し、学習を実生活の場面につなげている。(5年p. 71)</p>	<p>○全学年の裏表紙に目次があり、目につきやすく実用的になっている。</p> <p>○「物の燃え方と空気」では、危険なことを赤字で大きく書き、写真を用いて安全な実験の手順を示している。(6年p. 19)</p>	<p>○写真やイラスト、文字の大小、配色などが効果的に構成されて、読みやすく視覚的に分かりやすい。(5年p. 74-75)</p> <p>○見開きの2ページ分の記載量が適切で、学習への負担がない。また、必要箇所には二次元コードを配置し、補充資料を確保できるようになっている。(5年p. 78-79)</p>
B	<p>○全学年に「理科の学び方」を設け、問題解決学習の進め方を示している。(全学年p. 2-3)</p> <p>○「理科の学びに役立てよう」を全学年の巻末に特設し、実験や観察を行う際の器具の使い方や活動の進め方などについて、いつでも確認できるよう記載している。(3年p. 191-204)</p>	<p>○どの単元も「問題を見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画を立てよう」「観察」「結果」「考えよう」「わかったこと」の見出しを設定し、問題解決学習を進めやすくしている。</p> <p>○「しぜんのかんさつ生きもの」では、身近な植物や生物の写真を一覧化してあり、実物と照合できるよう工夫されている。(3年p. 202-203)</p>	<p>○「しぜんのかんさつ」では、冒頭の見開き2ページを児童が校庭で観察をしているイラストを使用し、学習への興味をもたせるとともに、二次元コードにおいて自然観察の進め方を動画で確認できるようにしている。(3年p. 4-5)</p> <p>○全学年の巻末に次学年の学習を示し、進級・進学後の学習への興味と見直しをもたせるようにしている。</p>	<p>○「天気と気温」では、晴れた日やくもりの日の温かさの違いについて体感を通して考える場を設定し、問題を自分のこととして考えるよう工夫されている。(4年p. 6-7)</p> <p>○「蒸散の利用」では、学習した葉の蒸散によって夏の室内温度が下がり、生活に役立っていることに触れている。(6年p. 67)</p>	<p>○「算数科とつなげよう」や「ほかの教科とつなげよう」では、他教科や他学年での学習との関連事項が記載されている。(3年p. 192)</p> <p>○「かけがえのない地球環境」では、環境問題についての問題意識が高まるよう工夫されている。(6年p. 194-207)</p>	<p>○全学年の裏表紙にジオパークの写真に掲載し、自然の不思議さに興味に向くよう工夫されている。</p> <p>○全学年、実験をする際の危険事項を朱書きで記し、注意喚起がされている。</p>	<p>○植木鉢の代わりに使用済みのペットボトルを再利用し、リサイクルへの意識が高まるよう工夫されている。(5年p. 34)</p> <p>○見開きの2ページ分の記載量が適切で、学習への負担がない。また、必要箇所には二次元コードを配置し、補充資料を確保できるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

理科 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○全学年とも巻頭における「科学の芽を育てよう」で、各学年において身に付けたい力を「理科モンスター」として示し、学習に生かせるよう工夫されている。(3年p. 4)</p> <p>○各学年において特に身に付けたい力が明示されており、学習する上で意識する点も示されている。(全学年p. 4)</p>	<p>○単元の冒頭において、特に身に付けたい資質・能力について「理科モンスター」を3つ提示し、意識をしながら学習を進められるよう工夫されている。(5年p. 123)</p> <p>○単元末のふりかえりにおいて、二次元コードを掲載し、自己評価ができるようになってきている。(4年p. 52)</p>	<p>○「人のたんじょう」での調べ方について、複数提示することで、興味・関心に応じて学習方法を選ぶことができるよう工夫されている。(5年p. 165)</p> <p>○観察記録など、複数の方法を例示し、能力に合わせて選択できるよう工夫がされている。(3年p. 12)</p>	<p>○「火山の噴火と地震」では、砂岩と泥岩の地層に出雲市の写真が掲載されており、身近な地層に興味をもてるよう工夫されている。(6年p. 153)</p> <p>○各学年の巻末の「考えよう調べよう」の「記録するーノートに記録するにはー」では、観察や実験を行うときの記録のしかたが示されている。(4年p. 192)</p>	<p>○「もっとしりたい」のコラムでは、仕事や暮らしなどと関連付けて示されている。(6年p. 151)</p> <p>○全学年の巻末の「考えよう調べよう」にて、図書館の活用の仕方が掲載され、思考をさらに深められるよう工夫されている。(3年p. 174, 4年p. 193, 5年p. 180, 6年p. 220)</p>	<p>○全学年の裏表紙にSDGsの17の目標が掲載されており、単元ごとに当てはまる項目が示されている。(全学年裏表紙)</p> <p>○実験器具などの使い方を二次元コードから読み取ることができるよう工夫されている。(3年p. 179)</p>	<p>○理科で育成する資質・能力を「理科モンスター」として示し、親しみやすく学習を進めることができるよう工夫されている。(全学年p. 4)</p> <p>○全学年とも巻末においてふりかえりを意識して次の学習に進められるよう工夫されている。(3年p. 182-183, 4年p. 202-203, 5年p. 190-191, 6年p. 230-231)</p>
F	<p>○「学習の進め方」では、各学年で身につけたい力や問題解決学習の流れを分かりやすいように示す工夫がされている。(全学年p. 6-7)</p> <p>○3年には、生活科と理科の違いを漫画で説明し、理科の学習への意識付けがされている。また4-6年には、前学年で学んだことが一覧で掲載され、復習としても学習へのつなぎとしても活用できるように工夫されている。(全学年p. 2-3)</p>	<p>○単元導入で「学習前の○○さん」単元末の「学習後の○○さん」を掲載することで、学習前後の成長が実感でき、次の学びに向かう力になるよう配慮されている。(6年p. 25, 48)</p> <p>○「ものの温度と体積」では、水、空気、金属の体積の変化を調べるために、条件(60℃の湯)を同じにすることで児童の思考の流れに沿った展開となっている。(4年p. 128-141)</p>	<p>○「人や他の動物の体」では、実際の内臓の大きさが見開きで表され、体に当ててイメージしやすいよう工夫されている。(6年p. 42-45)</p> <p>○「こん虫の世界」では、図書館で図鑑を使って調べるだけでなく、二次元コードによる「Webずかん」でも調べられるよう工夫されている。(3年p. 78)</p>	<p>○「季節と生き物」では、昆虫や鳥の観察についで、どのように記録すればよいか明確に示し、通年で活動できるよう工夫されている。(4年p. 15)</p> <p>○「電気の利用」では、学びを広げるために、プログラミングについて詳細に紹介され、複数のプログラミングの活動が体験できるよう工夫されている。(6年p. 187-191)</p>	<p>○「科学のまど」が単元末に設定され生活と学習内容のつながりを意識させている。</p> <p>○全学年の巻頭や巻末に「自分たちの考え方を伝え合い、学び合おう」や「算数とのつながり」を掲載し、国語と算数で学んだ力を活用できるように紹介している。(全学年p. 5, 6年p. 217)</p>	<p>○各学年で初めて使う実験用機器の使い方が巻末にまとめられ、安全かつ正確に実験ができるように配慮されている。(6年p. 211-214)</p> <p>○巻末には、様々なコーナー(道具や器具の使い方、科学館博物館の利用法、学年で学んだことなど)がまとめられている。</p>	<p>○身近な材料を用いた実験が紹介され、児童が事象に気づきやすい工夫がされていたり、新しい実験機器、用具が紹介されたりしている。(4年p. 218-223)</p> <p>○どのページも見やすい配置や色使いになるよう写真を多用するなどの工夫がされ、デジタルコンテンツも豊富であるため、個別最適な学びがしやすい。(5年p. 124, 207)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

理科 No. (3)

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
H			教科書見本の送付なし				
K	<p>○全学年とも巻頭において、学習の進め方を図によってわかりやすく示すと同時に、各学年で大切なことが示されている。(3年p. 2-3)</p> <p>○単元導入時において、「思い出そう」や「はじめに考えよう」に二次元コードが付いており、学びのきっかけづくりに工夫がされている。(5年p. 73)</p>	<p>○学習の進め方を「問題」「予想」「実験・観察」「結果」「まとめ」の学びのラインとして示すことで、見通しをもたせやすくするよう工夫されている。(3年p. 133-137)</p> <p>○「とじこめた空気や水」では、意識的に理科の見方・考え方を働かせられるよう、吹き出しの中で「見方・考え方マーカー」を引くよう工夫されている。(4年p. 82)</p>	<p>○各学年の巻末において、「記録カードの書き方」「ノートのとまとめ方」を例示し、どのように記録し、整理すればよいかを示されている。(3年p. 176-177, 4年p. 190-191, 5年p. 182-183, 6年p. 206)</p> <p>○単元末において、「まとめノート」「たしかめよう」「活用しよう」「くらしとリンク」のふりかえりを示し、学習したことを身の回りのこととつなげるよう工夫されている。(4年p. 99-101)</p>	<p>○目次ページには「季節ごよみ」の欄があり、動植物を調べるために必要な観察時期や植え付け時期が示されている。(3年p. 7, 4年p. 7, 5年p. 7, 6年p. 9)</p> <p>○「大地のつくりと変化」では、山陰海岸の写真や隠岐のジオパークが取り上げられ、身近な地域の地層に興味をもてるよう工夫されている。(6年p. 149)</p>	<p>○各学年とも巻末の「資料室」において、「算数のまど」が設定されており、結果の示し方やデータの処理の仕方等が示されている。(3年p. 180-181, 4年p. 194-195, 5年p. 186-187, 6年p. 210-211)</p> <p>○他教科や中学校との関連するコラムについては教科のマークで示すよう工夫されている。(6年p. 122-123)</p>	<p>○防災の観点でまとめた各学年の「with the Earth」を6年生で活用できるよう工夫されている。(6年p. 145)</p> <p>○各学年の巻末において、「CBT」コンテンツを二次元コードにより読み取ることができ、情報活用能力を付けるよう工夫されている。(3年p. 184, 4年p. 200, 5年p. 192, 6年p. 216)</p>	<p>○「SDGs」や「STEAM」のコラムをとし、サステイナブルな社会をめざすための理科の役割が示されている。(4年p. 105, 5年p. 121)</p> <p>○全学年、導入から計画、実験サポート、まとめまでICTを効果的に活用して学びが深まる構成となるよう工夫されている。(5年p. 123-135)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

生活 No. (1)

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○単元が色分けしてあり、国語辞典の「つめ」のようになつて探しやすい。</p> <p>○単元の最初に、今までの体験や新たな気づきにつなげるための写真が大きく掲載され、導入で使いやすいよう工夫されている。(下 p. 8, 44)</p>	<p>○数ページにまたがって植物の種子-花-種まで示してあり、最後のページまで開くと一連の写真を見ることができ、次への変化を想像しながら読み進めることができる。(上 p. 28-32)</p> <p>○「野さいのせわをしよう」では、1年時の学習と比較する等、学習を深められるよう工夫されている。(下 p. 12)</p>	<p>○「たのしいあそびがいっぱい」では、児童が興味を持ちやすくなるよう、活動の具体例が大きなイラストで示してある。(上p. 74-75他)</p> <p>○写真やイラストに添えられた吹き出しに様々な疑問や気づきが書かれており、児童の興味関心を広げられるよう工夫されている。(下p. 14-15)</p>	<p>○「かんさつずかん」、「いきものずかん」、「あそびずかん」等の記載があり、学習前後に調べたり深めたりできるように工夫されている。(上 p. 50, 58他)</p> <p>○巻末の「かつどうべんりてちょう」に、調べたりまとめたりするための様々な方法が掲載されており、学びを深められるよう工夫されている。(下p. 113-120)</p>	<p>○挨拶の仕方が具体的に示してあり、入学してすぐの時でも、日常生活でお手本として使えるようになっている。(上p. 19)</p> <p>○国語や算数で学習したことを生かす場面が示され、他教科とのつながりを意識できるよう工夫されている。(下p. 15, p. 51)</p>	<p>○児童が親しみがもてる2人のキャラクターを登場させている。</p> <p>○板書や活動例が示され、教員が授業を考える際のヒントが記載されている。(下p. 14-15)</p>	<p>○写真やイラストが多く盛り込まれており、文字量が多くないので、1年児童にとっても、親しみやすい教科書になっている。</p> <p>○單元ごとに目指す資質・能力が端的な表現とマークで示され、教師が指導と評価の一体化を意識できるよう配慮されている。(下p. 4)</p>
B	<p>○「がっこうとなかよくなろう」では、大きな写真で学校内にあるものを示し、児童の興味・関心が高まるように示されている。(上p. 22-23)</p> <p>○児童の字で書かれた日記や手紙が多く掲載されており、児童がイメージを膨らませるよう工夫されている。(下p. 100-101)</p>	<p>○どの単元も記載の仕方が、活動例、まとめの仕方、学習道具箱の順に統一されており、読みやすい構成になっている。(上p. 50-63)</p> <p>○すごろくやビンゴカードを使い、色やにおい、音、手触り等、様々な視点の気づきを促すよう工夫されている。(下p. 16-17, 28-29)</p>	<p>○説明をことばで示すだけでなく、クイズ感覚で読めるようになっている箇所もあり、児童の関心を引きやすいようになっている。(上p. 73)</p> <p>○昆虫やおもちゃの写真横に二次元コードが掲載され、興味をもった項目について詳しく調べられるよう工夫されている。(下p. 34-35)</p>	<p>○各単元で、人との関わり方が吹き出しで示してあり、参考にしやすいようになっている。(上p. 18他)</p> <p>○「せいかつことば」等語彙を増やすよう工夫されている。(下 p. 42-43)</p>	<p>○「がくしゅうどうぐばこ」で、手紙の書き方、道具の扱い方、観察の仕方等他教科と関連させられるよう工夫されている。(上 p. 40, 130-137他)</p> <p>○「がくしゅうどうぐばこ」では、地図のつくり方や方角についても記載され、3年生に向けての学習に繋がるよう工夫されている。(下p. 120-121)</p>	<p>○写真が大きく掲載されており、児童が活動のイメージを持ちやすいようになっている。(上p. 28, 32他)</p> <p>○「夏のやさいのさいばいにチャレンジ」では、野菜の入った料理から育てたい野菜を考える仕掛けがあり、収穫後の活動に繋がるよう工夫されている。(下 p. 20-21)</p>	<p>○児童の思いや、人に接する場面が写真と吹き出しで表現され、児童にとってより身近に感じられる。(上p. 2, 3他)</p> <p>○「がくしゅうどうぐばこ」では、児童が伝えたいことを様々な方法で表現できるように具体的な例が示されている。(下p. 116-119)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

生活 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○1 単位時間の内容が写真や文を使って、見開き2ページで示されており、活動の順や内容がわかりやすい構成になっている。(上p. 26-47他)</p> <p>○目次に月が示されていて、1年の学習の流れがわかりやすく記載されている。(巻頭)</p>	<p>○各単元の始めに、めあてが記載されていて、何を学習していくのかが分かりやすい。(上p. 12他)</p> <p>○「まちたんけん」の単元が1年を通して掲載され、見通しをもって活動できるよう工夫されている。(下p. 4-35)</p>	<p>○「ものしりのおと」や「ものしりずかん」で、遊び方や植物等写真や文で紹介されている。学習を深めることができるようになっている。(上p. 54, 68他)</p> <p>○「生きものと友だち」の単元では、イラストの中にある生き物の名前をクイズ形式で学ぶしかけがあり、興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫されている。(下p. 60-61)</p>	<p>○「ものしりのおと」や「みんなであそぼう」では、昔からある遊びが多く紹介されている。(上p. 58-59)</p> <p>○手作りおもちゃで遊ぶ活動では、人と関わる場面を大切にしたい具体的な例がイラスト等で示され、協働的な学びにつながるよう工夫されている。(下p. 84-95)</p>	<p>○「ものしりのおと」や「ものしりずかん」で、遊び方や植物等写真や文で紹介され、他教科への学びへ深められるようになっている。(上p. 54, 68他)</p> <p>○巻末の「学び方図かん」では、定規を使って調べることや順序が分かる言葉を使って話すこと等、算数や国語と関連付けた「わざ」が記載されている。(下p. 116-117)</p>	<p>○学習のまとめの方法が一つでなく、いくつか提示されている。(上p. 134)</p> <p>○「やくそく」では、イラストが掲載され児童が自分でどんなことに気をつければよいか考えられるよう工夫されている。(下p. 9)</p>	<p>○イラストと写真のそれぞれのよさをうまく使い分けて使用されており、児童の興味をそそるよう構成されている。(上p. 30-31他)</p> <p>○「ふりかえろう」では、今までに書いた日記を並べ、児童が教科書と一緒に今までの成果物を使って振り返られるよう工夫されている。(下p. 57, 73)</p>
F	<p>○「かぞくにここを大きくせん」では、単元名がそのままめあてになるよう工夫されている。(上p. 84)</p> <p>○単元の最後に自分の考えやもっと知りたいこと等を書き込むページがあり、教科書に自分の思いを記録できるよう工夫されている。(上p. 20, 136, 下p. 14他)</p>	<p>○各ページの左上にあるサイコロに6つの力が記載されており、目指す姿を意識して活動できるよう構成されている。(上下巻)</p> <p>○1時間の活動の終わりに選択肢や自由記述欄が設けられており次の活動につなげられるよう工夫されている。(上p. 14他)</p>	<p>○「あきをもつけたよ」の活動の具体例が写真、絵、作品等で示されている。(上p. 74-79)</p> <p>○「デジタルずかん」では、児童の興味・関心に応じて動植物等を詳しく調べられるよう工夫されている。(下p. 40-41)</p>	<p>○巻末の学びのポケットで、ここでの学びを他の学習につなげられるよう工夫されている。(上p. 117-129)</p> <p>○手作りおもちゃで遊ぶ活動では、どうしたらパワーアップできるか児童自身が考えられるよう、様々な工夫の仕方が記載されている。(下p. 84-85)</p>	<p>○花を育てながら鑑賞するだけでなく、花の利用や保存できるよう図画工作へと発展させる活動例が示されている。(上p. 33)</p> <p>○巻末の「学びのポケット」や「はってん」コラム、「ヒント」に理科や社会科等他教科に関連した内容の記載がされている。(下p. 9-13)</p>	<p>○キャラクターを登場させ、児童の気持ちを代弁させたり、問いを投げかけたりし、学習が身近に感じられるようになっている。(上p. 7, 9他)</p> <p>○タブレットを使った発表や記録の仕方について実践しやすいよう、写真で活用場面が示されている。(下p. 13, 128)</p>	<p>○「じしんをもつ」では、児童が学習を振り返り、残すことができるよう工夫されている。(下p. 32-33)</p> <p>○各単元の最初に「わくわくスイッチ」を設けて、児童の思いや願いを大切にして学習に取り組めるよう工夫されている。(上p. 83, 下p. 5他)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

生活 No. (3)

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
H	教科書見本の送付なし						
I	<p>○児童が身近に感じられることばが単元の始めに示してあり、これからの学習のめあてを持ちやすくなっている。(上p. 22)</p> <p>○学習環境を写した写真が掲載され、授業のイメージがもちやすいよう工夫されている。(下p. 74)</p>	<p>○ページ右下の「ふりかえろう」では、気持ちや考えたことを表現するコーナーがあり、その日の活動を振り返り、次の学習につなげられるよう工夫されている。(上p. 27-37, 下p. 17-21)</p>	<p>○「なつとともだち」では、児童がやってみたいという気持ちになるような遊びが写真で示してある。(上p. 46-49)</p> <p>○「こんなこともあるかもね」では、児童が様々な考えに触れられるような内容がイラストで示されている。(下p. 31)</p>	<p>○地域の特徴に気付くことができるよう、日本各地の祭りや行事が紹介されている。(上p. 55, 87)</p> <p>○同じ「伝える」活動でも、単元ごとに紹介される内容が変わり、カードや新聞の書き方等様々な表現に触れられるよう工夫されている。(下p. 42, 82)</p>	<p>○あさがおの種の数え方の紹介で、種を10ごとに分けるよう示してあり、算数と関連させる工夫が見られる。(上p. 40)</p> <p>○単元の最後の「楽しい毎日につなげよう」では、生活に生かす場面が紹介され、児童が自分の生活とつなげて考えられるよう工夫されている。(下p. 22)</p>	<p>○子どもに人気の絵本の画家が挿絵を描いており、児童にとってなじみのあるイラストになっている。</p> <p>○ページの左下には、活動をより充実させるためのヒントが掲載されている。(下p. 30)</p>	<p>○写真が多く使われ、目を引いたり、活動が具体的に分かる。</p> <p>○毎時間の振り返りと単元後の振り返りを積み重ね、児童が自分の成長を感じ取れるよう工夫されている。(下p. 86-95)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

生活 No. (4)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
K	<p>○単元の最後に「やってみよう」や「びっくり図鑑LIVE」等掲載されており、興味関心が続くよう工夫されている。(上p. 80-81、108)</p> <p>○「せかいでひとつわたしのおもちゃ」では、教室の場づくりや材料のアイデアが掲載され、活動の見通しがもちやすいよう工夫されている。(下p. 64-65)</p>	<p>○スタートブックが、今までの育ちとこれからの学びの連続性がまとめて掲載されており、見通しを持ちやすい。(上スタートブック)</p> <p>○「びっくりずかん」「がくしゅうずかん」「デジタルたんけんブック」が各単元にあり、児童の興味関心に応じて調べるための資料が充実している。</p>	<p>○「わくわくタイム」として写真がたくさん掲載されており、児童の関心を引くよう工夫されている。(上p. 4-5)</p> <p>○「大きくそだてわたしの野さい」では、野菜を切った写真がどの野菜かクイズで楽しめるようになっており、児童の興味を高められるよう工夫されている。(下p. 14-15)</p>	<p>○「学校のひととはなしてみよう」では、人と関わる場面の写真や、あいさつの仕方が詳しく示されている。(上p. 9)</p> <p>○言葉、絵、動作、ICT活用等の多様な表現活動が掲載されており、思考を深め、豊かな表現力が身につくよう工夫されている。(下p. 24-25)</p>	<p>○アサガオの観察の視点が具体的に挙げてあり、理科の導入の際に参考になるよう工夫されている。(上p. 27)</p> <p>○「ひろがるきもち」では、生活での学びを日常生活に生かそうとする姿が具体的に示されている。(下p. 9)</p>	<p>○「花を育てよう」では、種子からの育ち、また種子になるところまで連続した写真で示しており、変化の様子が分かるよう工夫されている。(上p. 23-30)</p> <p>○「ステップアップブック」では、3年生への期待感を高め、自信と期待をもって進級することができるよう工夫されている。(下ステップアップブック)</p>	<p>○各ページの右下に「めくり言葉」があり、児童の思いや願いを次の活動につなげ、活動の意欲を高められるよう工夫されている。(下p. 50-54)</p> <p>○単元の導入、主な活動、振り返りを「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」で整理してあり、児童も教員も見通しをもって学習できるよう構成されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

音楽 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
F	<p>○音楽づくりの内容がどの学年も充実している。目次にも太線が引いてあり、音楽づくりをする単元が一目で分かるよう工夫されている。(目次)</p> <p>○曲の魅力について気づきを書き留めたり、意見を交換したりするような学習が設定され、言語力を活用した学習や、協働的な学習に配慮されている。(4年 p. 55)</p>	<p>○「音楽のもと」というキーワードで「音楽を形づくっている要素」が示されており、学年を通して児童に定着するよう工夫されている。(右ページ上)</p> <p>○毎時少しずつ繰り返して練習することによって、緩やかかつ着実に歌唱や楽器の技能、拍感等基礎的・基本的な事項が身に付けられるような教材が配置されている。(4年p. 28)</p>	<p>○二次元コードで「まなびリンク」につなぐことができ、難しいリズムや初めて出会う楽器の音色の確認ができるよう配慮されている。(3年p. 49)</p> <p>○現代の児童の生活や心情に即した教材を取り上げたり、写真・学習に関連したWEB上の資料を効果的に用いたりして、児童の主體的な学びを引き出すよう配慮されている。(6年p. 18)</p>	<p>○全学年に「さんぼ」が掲載されており、全校集会や全校での合奏に使用することができる。発達段階に応じて斉唱、リコーダー演奏、鍵盤演奏と難易度が上がる等、段階を踏んだ学習構成がなされている。(3年p. 70他)</p> <p>○巻末では、学年に合わせた編成で「音楽のおくりもの」と「さんぼ」が全学年に掲載されており、小規模の学校でも全校合奏ができる、一体感や合わせる楽しさを味わうことができるよう工夫されている。(6年p. 71-72他)</p>	<p>○どの学年にも外国語の歌が掲載されていることで、「外国語で歌ってみたい」という意欲が持続し、外国語に親しむことができるよう工夫されている。(1年 p. 70-71他)</p>	<p>○鍵盤ハーモニカの写実が実物大で掲載されており、鍵盤ハーモニカに立てかけると吹きやすく、着実に技能が身に付くよう工夫されている。(2年 p. 22-23)</p> <p>○リコーダー運指表が折り込みになっているので、合奏の楽譜を表示しながら運指を確認することができる。個別最適かつ着実に技能を習得できるよう配慮されている。(3年p. 79他)</p> <p>○和音に合わせて旋律を作る学習で、つくる旋律の下に伴奏の和音が実際の楽譜の状態で記されており、今後の学習と結び付けて学習しやすいように配慮されている。(5年 p. 21)</p>	<p>○スケールの大きさが一目で分かるように「ふじ山」「こいのぼり」では効果的に折りこみページが作られている。また美しい写真を大きく掲載することで、歌唱の際のイメージが広げやすくなるよう工夫がされている。(3年p. 41, 5年p. 11)</p> <p>○歌唱共通教材については、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるように工夫されている。また、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には注釈を加えて、歌詞を味わうことができるよう配慮されている。さらに、作品の著作者が紹介され、著作者を尊重する態度を育むような配慮がされている。(6年 p. 10-13)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

音楽 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
G	<p>○「1ねんせいがかくしゅうマップ」では、何を学ぶかが1年生に分かるように吹き出しで記してあり、児童が見通しをもてるように配慮されている。(1年p. 2-3)</p> <p>○「音楽づくり」の教材については、各学年の発達段階を考慮した無理のないステップが踏まれており、学年が上がるにつれて、着実に学力の積み重ねが行われるように配慮されている。(2年p. 60, 4年p. 62)</p>	<p>○同じ作曲者の合唱曲が増えたことで、もっこの作曲者の歌を歌いたいと感じる児童に対して、興味関心を高められるよう工夫されている(5年p. 70-p. 71)</p> <p>○各学年で学んだ重要な学習事項を、児童が自分で振り返り確認することができる「ふり返りのページ」が設けられており、基礎的・基本的な学力の定着を図れるように配慮されている。(4年p. 82-83他)</p>	<p>○イラストが多く、子どもとナビゲーターのキャラクターが全学年を通じて登場し、学年が上がるごとに表紙の絵を見るのが楽しみになるよう工夫されている。(各学年)</p> <p>○いろいろな音符、休符で小学校では習わないもの(二分休符・全休符等)が掲載されており、「覚えておくと便利ですよ」という一言がある等、興味関心を高められるよう工夫されている。(6年p. 84-85)</p>	<p>○鑑賞教材として取り上げた伝統芸能や民謡等には、児童に親しみやすい切り口で学習のねらいや活動が設定されており、実際に音楽の一部を体験する活動を加える等、鑑賞学習のポイントを押さえつつ、音楽的側面から親しめるように配慮されている。(2年p. 58-59, 4年p. 26-29)</p> <p>○裏表紙には「石見神楽」に取り組む様子が掲載されており児童が地域の文化や芸能に興味・関心をもち、身近に感じられるよう工夫されている。(4年裏表紙)また、熊野大社(さざれ石)の写真が掲載されており、郷土を誇りに思う心情を育むよう配慮されている。</p>	<p>○絵描きうたや縄跳び等をわらべうたと一緒に学ぶことで、図工や体育と音楽の学習がつながり、教科横断的学習として興味・関心を高められるよう工夫されている。(1年p. 66-67)</p> <p>○他教科との関連を図ることで、児童の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深める事が出来るよう、調べ学習や英語の歌、日本の古典芸能等が、適切に配置されている。(6年p. 80-81)</p>	<p>○「君が代」では、国歌についての説明が学年に分かりやすく書いてある。どの学年もページの両端に和柄の模様がついており、美しさや日本文化を感じとることのできるデザインになっていることで興味関心を高められるよう工夫されている。(1年p. 82-83他)</p> <p>○震災を体験した方によるメッセージや、復興がきっかけで歌が生まれたことを伝えるコラムが設けられ、「音楽に何ができるか」という観点から児童が考えることができるように配慮されている。(6年p. 43)</p>	<p>○音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それを生かして表現や鑑賞の活動が進められるように、題材は系統的に構成され、学習のねらいは児童に分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自分の生活をつなげられるように配慮されている。(各学年右ページ下)</p> <p>○「歌いつごう日本の歌」では全学年通して同じ模様が使用されており、学年を通して学びがつながるよう工夫されている。(1年p. 78-79等)</p> <p>○音楽づくりの学習では和音の響きの移り変わりを感じ取りながら旋律を作ることができ、音階の音だけで作るよりも創造性が発揮できるように配慮されている。(5年p. 38)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

図画工作 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
C	<p>○目次の横にその活動が写真で掲載され、児童が題材のイメージをもちやすい工夫がされている。</p> <p>○掲載されている作品に番号が振ってあり、どの作品を見たらよいか、示しやすいよう工夫されている</p> <p>○单元ごとに使う道具やめあてが児童に分かりやすく示してある。</p>	<p>○使った材料が次の活動で生かせる題材配列になっており、材料を多面的・多角的に捉え、有効活用できるよう構成されている。(1・2年上p.16-19)</p> <p>○巻末の「タブレットたんまつを使おう」では全学年を通して、主な使用方法を挙げて、具体的な活動と結びつけながら解説している。(1・2年上p.63)</p>	<p>○二次元コードからワークシート等を利用することで、書きながら思考を整理することや、学習評価に活用できる。(5・6年下p.10)</p> <p>○「学びの資料」、「ひらめきショートチャレンジ」で生活の中にあることのアレンジでデザインを見つける内容があり、児童の関心を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○出雲市の「一式かざり」が掲載され、島根県の伝統文化に着目できる。(5・6年上p.57)</p> <p>○いろいろな地域の素材や伝統工芸等を紹介し、児童が作れるようにアレンジしている。</p>	<p>○他教科での知識が作品制作により発展的な活動として深まるような題材がある。(3・4年上p.36-37, 3・4年下p.52-53)</p> <p>○各教科書巻頭や「未来へつながる図画工作」には、生活と図画工作での学びのつながりが職業を通じて分かりやすく示されている。(5・6年下p.66-69)</p>	<p>○工作の動き方について、紙面で端的に示すとともにより具体的なイメージがもてるよう動画でも示されている。(1・2年下p.36-37)</p> <p>○写真や文字が大きく、どんな活動を行えばよいか見通しがもちやすい。(3・4年上p.22, 5・6年下p.52-53)</p>	<p>○育成する資質・能力をキャラクターで表し、重点とするめあてを下線で強調する等、児童も指導者にも授業のゴールを意識しやすい構成になっている。(1・2年上p.4-7)</p> <p>○制作の流れ等が二次元コードで児童が見たいときに自由に確認できたり、指導者が活用できるようコンテンツが工夫されている。(3・4年下p.42-43)</p>
L	<p>○題材が見開きで構成され、左上に題材名と導入の言葉、学習のめあてが示され、制作過程の様子や学習での児童の思考の流れが分かりやすく示されている。</p> <p>○幼保小のスムーズな接続を意識した文字の量や図・写真の提示、また、目次等を巻末に掲載する等の構成の工夫がなされている。(1・2年上)</p>	<p>○身近なもの等多様な材料や用具にふれ、五感を通して味わい、イメージを広げる題材が掲載されている。</p> <p>○学年に応じた内容やサイズ(表す大きさ)で抽象表現や心象表現について取り上げている。また、見開き左下では構成についてのヒントとなる例を掲載している。(3・4年下p.12-13, 5・6年上p.8-11, 5・6年下p.10-13)</p>	<p>○題材名に工夫がなされており、児童が題材名を聞いただけで、興味・関心もち、さらに活動内容や材料がイメージできるものとなっている。</p> <p>○児童や作家の作品を大きく掲載しており、重ね塗りや筆のタッチ、光と影の表現が児童によくわかるようになっていく。(3・4年下p.19, 5・6年下p.24-25)</p>	<p>○「材料と用具のひきだし」では、用具について絵や写真を使ってわかりやすく掲載されている。また、表現方法や作品例、安全面についても掲載されている。</p> <p>○鑑賞について、各学年に適した内容がわかりやすく掲載されている。「体でかんじよう」は、作品と同じポーズをとり友達と対話する内容で、中学年から楽しく活動が掲載されている。(3・4年下p.22-25)</p>	<p>○「土のライブラリー」では、自然の色として浜田市、隠岐の島町の土が掲載されており、美術館への興味や郷土への感心につなげることができる。(3・4年上p.24)</p> <p>○「つながる図工」「広がる図工」では、学校、地域との連携や美術館等のマナーや楽しみ方等が掲載されている。また、1年を通して図画工作での学びを振り返る活動が掲載されている。</p>	<p>○家庭と連携しながら進められるよう、資質、能力等について「保護者の方へ」のメッセージが掲載されている(各学年巻頭)</p> <p>○巻末にアートカードの実践例が掲載されており、各学年の発達段階に応じた対話を通しての鑑賞活動が楽しくできるようになっている。</p>	<p>○作品や活動例を重視した文字の大きさやレイアウトの工夫がなされている。また、材料・用具の準備、授業のめあてから片付け、ふり返りという過程や内容が児童にとっても教師にとってもわかりやすくなっている。</p> <p>○デジタルコンテンツの充実が図られ、児童も教師も簡単にICT活用ができるような工夫から児童の興味・関心を高める内容になっている。(5・6年上p.12-13, 5・6年上p.54-55)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

家庭 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 教科横断的及び学校行事等とのつながりへの工夫	6. その他	(感性をはぐくむ要素を含む)
A	<p>○学習の各題材で「活動」の内容を順番に行うことで、問題解決的な学習がスムーズに進められるよう工夫されている。</p> <p>○「いつも確かめよう」では基礎的な技術をコンパクトにまとめ、デジタルコンテンツで児童自身が必要に応じて確認できるよう工夫されている。(p. 30-31)</p>	<p>○「話し合おう」や「深めよう」では、デジタルコンテンツを活用し、対話的な学びにつながるよう工夫されている。(p. 44, 52)</p> <p>○小題材ごとの「めあて」「できたかな?」「成長の記録」等で児童自身で学習の見通しをもったり、振り返りをしたりできるよう工夫されている。(p. 6-7, 16-18)</p>	<p>○紙面の下部に「メモ」や「ふり返ろう」、「安全のための注意事項」等を示し、主体的な学びを促すよう工夫されている。</p> <p>○デジタルコンテンツ内に「思考ツール」を示し、考えを可視化し主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。(p. 37)</p>	<p>○巻頭に衛生・安全を特集した「いつも確かめよう」があり、学びのはじめに調理実習や製作実習時での衛生・安全の確認ができるよう配慮されている。(p. 8-11)</p> <p>○夏休み前には、「夏休みわくわくチャレンジ!」が設定しており、学習したことを家庭で実践できるよう工夫されている。(p. 35)</p>	<p>○中学校技術・家庭(家庭分野)や他教科と関連のある学習内容を「関連マーク」で示し、関連付けや見通しがもてるよう工夫されている。(p. 39, 113)</p> <p>○「物を生かして住みやすく」では、下級生へ掃除の仕方を伝える活動が示され、学んだことを身近な学校生活で生かせるよう工夫されている。(p. 61)</p>	<p>○関連する内容を5年と6年でできるだけ同時期に配置してあり、複式の指導に配慮している。(p. 1)</p> <p>○5年の早い段階で、SDGsについての特設ページがあり、児童が家庭科の学習を進めるにあたって、SDGsの視点をもてるよう工夫されている。(p. 43)</p>	<p>○各題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の流れで構成されており、問題解決的な学習が進められるように工夫されている。(p. 4)</p> <p>○「生活を変えるチャンス!」では、実践への意欲がもて、生活とつながるよう工夫されている。(p. 65- p. 67, 121, 134)</p>
C	<p>○ステップ3(生かす・深める)では、伝統に触れることで興味・関心を持たせられる内容になっている。</p> <p>○全題材の導入に学習のめあてやステップ1-3が示しており、見通しを持つことができる。</p> <p>○実習例や製作例では、基礎・基本から応用まで多数の掲載があり、児童の実態に沿って選択できるようになっている。(p. 26, 44- p. 47, 115)</p>	<p>○全題材の最初に「めあて」からゴールまでが示してあるため、見通しを持つことができる。</p> <p>○全単元学習後に「できたかな」や「学習をふりかえろう」でチェックすることで知識・技能が身についたかを児童自らが振り返ることができるよう工夫されている。(p. 15, 19, 23他)</p>	<p>○全題材において、写真やイラストが大きく示されている。また写真やイラスト等の区別が分かりやすくデザインされており、見やすくなっている。</p> <p>○二次元コードから動画視聴ができ、視覚的に調理の仕方や裁縫道具やミシンの使い方等が分かるようになっている。</p> <p>○野菜の実物大資料で大きさの感覚がつかみやすくなっている。(p. 149)</p>	<p>○「キャリアインタビュー」のコーナーでは、生活にかかわる様々な方が小学生にメッセージを伝えることで、多様な視点を養うことができるよう工夫されている。(p. 18, 46, 64他)</p> <p>○特設ページ「安全と衛生に気を付けて実習しよう」では、実習の流れに沿って指導ができ、「なぜそうするのか」具体的に示し、指導がしやすいよう工夫されている。(p. 142)</p>	<p>○特設ページ「家庭や地域の安全・防災」では、防災について日頃の備えについて家族で話し合う場面や、防災用品の備えについて等の実生活や学校で生かせるよう工夫されている。(p. 144-145)</p> <p>○特別な教科道徳と関連する内容には「関連マーク」と示されているため、関連付けや見通しがもてるよう工夫されている。(p. 13, 49)</p>	<p>○全ページに「豆知識」として、用語の解説や豆知識が記載されていて児童に興味関心を持てるよう工夫されている。</p> <p>○5年生の早い段階で、SDGsに触れるページが多く「環境マーク」が各題材の様々なところにつけ児童に考えさせる様に工夫されている。(p. 19, 26)</p>	<p>○①気づく・見つける②分かる・できる③生かす・深めるの順番で学習を進められており、見通しを持って課題解決的な学習に取り組めるように工夫されている。(p. 3, 6-7)</p> <p>○実習上の安全の徹底を図るために食物アレルギーやはさみの渡し方等、安全について意識できるよう工夫されている。また、食品と加工食品との関わりも提示され、自分や身の周りの人への被害を防ぐことができるよう工夫されている。(p. 17, 21)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

保健 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○各項、資料も含め4-7ページで構成されており、児童の発達段階に適した分量である。</p> <p>○SDGsやインクルーシブ教育等のような、今日的な課題への対応がなされている。</p>	<p>○各項目が、1（気づく・見つける）、2（調べる・解決する）、3（深める・伝える）、4（まとめる・生かす）のステップで構成されており、自ら課題を発見し、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○保健学習の入り口として、七夕の短冊の写真を使用しており、3年生が保健学習に入りやすいよう工夫されている。（3・4年p.6-7）</p>	<p>○学習事項が的確に表現されたイラストや4コマ漫画等がふんだんに使用されており、児童が親しみやすく、かつ興味を持ちやすい工夫がされている。（5・6年p.34,68）</p> <p>○各章に、アニメーションやシュミレーション等のデジタルコンテンツが設定されており、学びを広げたり、深めたりできるような工夫がされている。（3・4年p.19,35）</p>	<p>○SOGIEの考え方に基いて性の4つの構成要素を示し、性の多様性についての認識を広げられるよう工夫されている。（3・4年p.38）</p> <p>○「ほかの人」「異性や好きな人」といった、「異性」に限定しない表現がされており、共生、性の多様性、個人差等への配慮が見られる。（3・4年p.37）</p>	<p>○不安や悩みへの対処法や呼吸法等を掲載し、学習したことを実生活に生かせるよう工夫されている。（5・6年p.16-17）</p> <p>○資料では、日常生活で起こりうる状況でどう対応したらよいかを具体的に考えられるよう工夫されている。（5・6年p.68）</p>	<p>○大きな写真や多様性に配慮したイラスト（表紙にも）、色による区別ではなく引き出し線を用いたグラフを採用する等、見やすさに加え、多様性への配慮もされている。（5・6年p.28）</p> <p>○各章の振り返りができるワークシートがダウンロードできるようになっている。（5・6年p.19）</p>	<p>○気づきや考え、学習のまとめを記入する欄がほぼ全ページにあり、教科書に学習の履歴を残せるようになっている。</p> <p>○写真、イラスト、グラフ、言葉等、すべてにおいて共生、性の多様性、個人差等への配慮が見られる。</p>
B	<p>○基本的に1単位時間、2-4ページで構成されており、すべての児童にとって学びやすい分量である。</p> <p>○感染症やSDGs等のような、今日的な課題を通して多角的に学ぶことができるよう工夫されている。</p>	<p>○各項目に、「見つける」「考える やってみる」「まとめる」「広げる 深める」のガイドが示しており、学習段階が分かるよう工夫されている。</p> <p>○各章の終わりには、「もっと知りたい！」コーナーを設け、多くの資料を掲載し、学習内容に関連した学びを広げ、深められるよう工夫されている。</p>	<p>○章の導入に学習ゲームを取り入れたり、二次元コードから動画やシュミレーション、アニメーションが見られたりする等、児童が楽しく学習に取り組めるよう工夫されている。（3・4年p.8-9,16）</p> <p>○「体の発育・発達」では、赤ちゃんの手形と今の自分の手形を比べることにより、自分の成長を実感できるよう工夫されている。（3・4年p.25）</p>	<p>○各章に設けられている「活かそう」では、活動を行うことにより、保健の見方・考え方を働かせることができるよう工夫されている。</p> <p>○交通事故を防ぐためのさまざまな工夫を写真で取り上げており、地域で行われている安全な環境づくりに目を向けられるよう工夫されている。（3・4年p.29）</p>	<p>○児童が生活する学校・家庭・地域の様々な場面で人々との交流の様子をイラストで示し、自分たちの身の回りの人々について意識できるよう工夫されている。（3・4年p.8-9）</p> <p>○他教科に関連した題材を適宜扱っており、他教科に関連していることが一目でわかるようマークで示されている。（3・4年p.26）</p>	<p>○本時の学習課題が「ここで学ぶこと」として大きめのフォントで示されているので、課題が分かりやすく、児童の学習に対する構えができるよう工夫されている。</p> <p>○丈夫で破れにくい紙が使われ、表紙は抗菌・抗ウイルス処理がなされているため、2年間気持ちよく使用できるよう工夫されている。</p>	<p>○文字やイラスト等の情報が絞り込まれ、課題や要点も大きめのフォントで書かれており、一目で学習内容が分かるよう工夫されている。</p> <p>○実生活・実社会で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的に体験的な解決が図れるように工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

保健 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
M	<p>○手洗いや虫歯等、児童に身近な事柄をもとに課題へとつなげる工夫がされている。(3・4年p. 18, 5・6年p. 5-6)</p> <p>○全62点のデジタルコンテンツを採用しており、実験動画等を見て学びを深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○各項目(1単位時間)が3ステップ(①課題をつかもう②考えよう・調べよう・やってみよう③まとめ)で構成され、学習の流れが分かるよう工夫されている。</p> <p>○今日的課題であるスマートフォンやタブレットと生活リズムの関係を取り上げ、生活リズムへの影響を深く考えられるよう工夫されている。(3・4年p. 17)</p>	<p>○各章の導入では、著名人の写真やインタビューを載せ、興味を持って学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各学習時間の最後にウェブサイトによる「ほけんクイズ」ができるようになっており、楽しく理解を深められるよう工夫されている。(3・4年p. 13)</p>	<p>○巻頭のページではイラストや写真を多用し、保健学習の意義が一目で分かるよう工夫されている。</p> <p>○「病気の予防」では、地域の広報誌を取り上げ、自分たちの健康が地域の保健活動によって支えられていることが実感できるよう工夫されている。(5・6年p. 71)</p>	<p>○各章の最後に学習を振り返るページが設けられ、学んだことの定着を図り、生活に生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>○発展的な学習内容を含めた資料が全51点掲載されており、学びを広げ、深められるよう工夫されている。(3・4年p. 17)</p>	<p>○軽量で、筆記特性に優れた紙を使っているので、書き込みがしやすい。</p> <p>○「体にあらわれる変化」では、着衣のイラストが使用されており、思春期の児童への配慮がされている。(3・4年p. 31)</p>	<p>○今日的課題が多く取り上げられており、現代社会に適した学習内容となっている。</p> <p>○自分の考えと友達の考えを比較しながら学習を進めることで、より広く、深く学べるよう工夫されている。(3・4年p. 14)</p>
N	<p>○3・4年は、ほとんどの単元で自分自身についてチェックする項目があり、自分はどうなのかということを考えながら学習に臨めるよう工夫されている。</p> <p>○「地域での安全」では、数値化したデータの掲載が多く、説得力のある説明になるよう工夫されている。(5・6年p. 32)</p>	<p>○「病気の予防」では、児童にとって最も身近で、取組の結果が表れやすい「歯の健康」を4ページにわたってとりあげ、資料も豊富に準備されている。(5・6年p. 61-64)</p> <p>○「心の発達」では感情・社会性・思考力の3つの要素が、成長とともにどう変化していくのかが図で表されており理解しやすい。(5・6年p. 4-5)</p>	<p>○変化していく身長や体重の伸びが0才児からのものが使われていて、これからどうなるのかグラフ(成長曲線)で分かりやすく示されている。(3・4年p. 22)</p> <p>○「毎日の生活とけんこう」では、1日の生活リズムについて、「けんこう」「ふけんこう」を明記して例示することで、児童が健康と生活リズムのつながりを意識できるよう工夫されている。(3・4年p. 8)</p>	<p>○「けがの防止」では、地域での安全を小単元として独立させ、自分たちの住む地域について考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 32-37)</p> <p>○喫煙や飲酒、薬物乱用では、「こんなとき」「こんな言葉に注意」として断る時どうしたらよいか考えさせるようにしている。(5・6年p. 68, 72, 76)</p>	<p>○各章の最後に「わたしの○○宣言」(自分の宣言を書くページ)が設けられており、学習の最後に生活実践に向けて意識できるように工夫されている。</p> <p>○清潔にするべき場所について、手の汚れだけでなく、足の裏の汗や汚れや靴下とハンカチの汚れにも着目している。(3・4年p. 11-13)</p>	<p>○「交通事故の防止」では、各都道府県の交通事故の死者数等を紹介し、自県の実態を知ったり、他県と比較したりできるように工夫されている。(5・6年p. 26)</p> <p>○「もっと考えよう」では、世界各国の刑罰を記載し薬物の危険性や乱用防止について考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 77)</p>	<p>○授業で学びを生活とどう結びつけるのか、またその後の生活にどう活かすのかを意識した構成となっている。</p> <p>○全国の交通事故の死者数、負傷者数や、一日当たりの犯罪被害の数等、自分たちの地域に目を向けるための資料が多く掲載されている。(5・6年p. 26, p. 32)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

保健 No. (3)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
0	<p>○各項スッキリした構成で分量も児童の発達に適したものとなっている。</p> <p>○心の健康で人との接し方がとりあげられ、気持ちを大切にされたコミュニケーションや人との距離感について詳しく書かれている。(5・6年p. 18-19)</p>	<p>○「さらに広げよう深めよう」で自転車の安全や車の特徴についてとりあげられ、動画でも見ることができるよう工夫されている。(5・6年p. 28-29)</p> <p>○「けがの防止」では、「犯罪被害の防止」の項目を設け、犯罪被害に合わないためには、どのようにしたらよいのかを考えるよう工夫されている。(5・6年p. 30-31)</p>	<p>○最初のページに著名な作家と、スポーツ選手等の健康についてのコメントを掲載し、児童の健康への興味を引くような工夫がされている。</p> <p>○各章の最初に、学習内容と身近な生活をつなぐ漫画を掲載し、学習の必要感、興味関心がもてるよう工夫されている。</p>	<p>○実生活において、自分の生活を振り返るために、スクリーンタイムと運動・睡眠時間との関係が示されている。(3・4年p. 15)</p> <p>○性に関する悩みやホットラインが電話番号だけでなく、より細かく記載されている。(3・4年p. 33)</p>	<p>○手の洗い方で洗い残しの多い場所や爪の生え際等にも着目している。また、よりよい換気の仕方での換気のポイントが図で分かりやすく説明している。(3・4年p. 20)</p> <p>○「病気の予防」では、新型コロナウイルス感染症をとりあげ、既習事項を使って予防できることを紹介し、実生活に生かせるよう工夫されている。(5・6年p. 46)</p>	<p>○最近よく使われている言葉(すいみんの質)の解説を取り入れている。(3・4年p. 39)</p> <p>○章の終わりに学習のまとめのページを設けており、易しい選択問題や思考を助けるヒントの提示等、考えをもちやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>○「さらに広げよう深めよう」として、学習内容のまとめりに豊富な資料を掲げ、学びを広げ、深めるよう配慮されている。</p> <p>○デジタルコンテンツが充実しており、動画を見ることでより理解できるような工夫をしていたり、関連ウェブサイトへのリンクによって、詳しく知ろうとする児童にも対応している。</p>
P	<p>○悩みの対処法やリラックスの方法について4ページにわたってとりあげている。具体的な記述が多く、児童にとって取り組みやすい内容になっている。(5・6年p. 20-23)</p> <p>○1単位時間4ページの基本構成とし、3つのピースを完成させるという流れにより見通しをもって学習ができるように配慮されている。</p>	<p>○毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○「体の発育・発達」のデジタルコンテンツでは、数値を入力しグラフを完成させる作業が簡略化され、思考の時間が確保されている。(3・4年p. 29)</p>	<p>○「体の発育・発達」では、身長伸びを紙テープを切って貼ることにより、楽しみながら成長や変化が実感できるよう工夫されている。(3・4年p. 44)</p> <p>○各章の最初に、学習の目標や、学習内容と関連した疑問が示されており、見通しや考えをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p>	<p>○「ほけんのはこ」では、学習内容に関わる様々な資料を提示し、より学びを広げたり深めたりすることにつながっている。(5・6年p. 11)</p> <p>○振り返りシートの中に「もっと学習したいこと」を書く欄が設けられてあり、児童が学びを生活に生かしたり結びつけたりして考えられるようになっている。</p>	<p>○各章の振り返り場面では、「誰かに伝えたいと思ったこと」を書く欄が設定されている。(3・4年p. 26, 46, 5・6年p. 24, 48, 84)</p> <p>○各章のとびらのページ「つなぐ」では、学習内容と関連の深い職業を紹介し、インタビューを掲載する等、キャリア教育の視点とつなぐよう工夫されている。</p>	<p>○ほぼ全ての小単元に「話し合い」場面が設定されており、対話的・協働的な学びへのつながりを意識した構成となっている。</p> <p>○「かがくの目」として、実験の場面や写真を通して「見えないもの見える化」し、科学的な理解に結びつけるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○書き込みをする箇所が多く、児童が考えながら学習を進めていく構成になっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

外国語 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○5年生のテーマは「日本でつながるわたしたち」、6年生のテーマは「世界とつながるわたしたち」となっており、児童の興味や発達段階に応じたテーマ設定となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及びUnit数は、5・6年ともに8Unit96ページである。</p>	<p>○Enjoy Communicationでは、学習目標の中心となるコミュニケーション活動の目的・場面・状況及び言語の働き等が視覚的に示され、学び方がよくわかるよう工夫されている。(5年p. 12-13)</p> <p>○ページ下にSmalltalkやSounds and Lettersを設けて、帯活動につなげたり、関連ページを探したりしやすいよう工夫されている。</p>	<p>○各Unitの初めに、内容に一致した歌やチャンツがあり、基本表現や既習表現のリズムやイントネーションに慣れ親しんでから、言語活動に入れるよう工夫されている。(5年p. 8)</p> <p>○写真やイラストが多用されており、児童がトピックについて興味をもったり、場面を想起したりしやすいよう工夫されている。(6年p. 38-39)</p>	<p>○ところどころに単語の意味を補足する絵が描かれてあり、児童にとって学びやすいよう工夫されている。(6年p. 11)</p> <p>○各Unitの最後には、Sounds and Lettersのページがあり、系統的・計画的に、アルファベットを書いたり、文字の音に慣れ親しんだりすることができるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元最後のOver the Horizonでは、その単元と同じテーマについて、身近なことや他教科と関連づけた情報が豊富な写真とともに掲載されている。(5年p. 14-15)</p> <p>○総合的な学習の時間で扱われる「環境問題」と関連した内容が取り上げられ、主体的に学ぶことができるよう工夫されている。(6年p. 60-67)</p>	<p>○書く活動が充実しており、中学校への移行がスムーズである。</p> <p>○1時間ごとのふり返りがあり、児童がついた力を自覚できるようになっている。</p>	<p>○学習の流れが明確で見通しをもちながら学習できる。また、スモールステップの単元構成となっており、児童が学びやすく、指導者が指導しやすいよう工夫されている。</p> <p>○二次元コードが多くあり、音声や映像を必要に応じて使うことができる。</p> <p>○アプローチを変えながらスパイラルに活動が配置されており、確実な言語材料の定着を図ることができる。</p>
C	<p>○各学年巻末折込には、単元ごとの「CAN-DOチェック」が示されており、各単元で身に付けるべき英語表現や技能について見通しをもったり、自己評価したりできるよう工夫されている。(各学年p. 128)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及びLesson数は、5・6年ともに8Lesson, 128ページである。</p>	<p>○単元チャートが示されており、目指す姿を掴んだり見通しが持ったりできるようになっている。更に、見開きごとに活動目標が明示され、子どもと指導者がめざす姿を共有できるよう工夫されている。(5年p. 15)</p> <p>○Let's Checkでは何ができるようになったかをペーパーテストとパフォーマンステストの両方で確かめることができるよう工夫されている。(各学年3回分)</p>	<p>○同世代のキャラクターが成長する様子を載せ、共感から学びを促す仕組みがある。</p> <p>○二次元コードを読み取ると、Song boxやWord Box等を動画で見ることができ、児童自ら課題に応じて学習できるようデジタルコンテンツを充実させている。</p> <p>○「スリー・ヒント・クイズ」「ジェスチャーゲーム」等、児童の興味・関心を引くゲームが複数示されている。(6年p. 73, 98)</p>	<p>○Sounds and Lettersでは、英語を書くページがまとめてあることにより、児童が学びの連続性を感じることができるよう工夫されている。(5年p. 112-119, 6年p. 112-119)</p> <p>○Let's Watch and Thinkでは世界の子どもの生活や文化等を紹介し、異文化への理解を深め、自他を尊重する態度を養えるよう工夫されている。(5年p. 22)</p>	<p>○「将来の夢」「夏休みにしたこと」「起きた時間」等、実生活と結びつくものを取り上げている。</p> <p>○SDGsや「伝統・文化」「防災・安全」等社会的な課題を題材に盛り込むことで、子どもの視野を広げるとともに、持続可能な社会の担い手育成が意図されている。</p>	<p>○別冊Word bookが学年ごとについており、各学年で学習する英単語や表現がまとめられて、話したり書いたりする際に役立つ内容となっている。</p> <p>○各学年で学んだ表現についてまとめられており、児童が学習を振り返りやすいよう工夫されている。(巻末)</p>	<p>○「3・4年で学習したこと」と「5年で学習したこと」や「授業で使える20の表現」がまとめられており、学習の連続性が感じられるよう工夫されている。(5・6年p. 8-11)</p> <p>○聞くことから話すこと、そして読むこと書くことの順に活動が並べられ、スモールステップを意図した構成となっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

外国語 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
E	<p>○各学年の教科書の総ページ数及びUnit数は、5年3、7Lesson112ページ、6年3、7Lesson112ページである。</p> <p>○別冊絵辞典として「My Dictionary」がついており、総ページは48ページでイラストで語句を確認でき、2年間通して使用できるようになっている。</p>	<p>○一年間に大きな言語活動が3つ設定されており、それぞれが1つのUnitとして考えられている。</p> <p>○各UnitはHOP（見通す）・STEP（出会う、慣れ親しむ、伝え合う）・JUMP（表現する）という三段階で構成されており、学ぶプロセスが「見える化」されている。（5、6年p. 4-5）</p> <p>○STEP内には2-3Lessonあり、達成可能な小さなゴールが設定されている。</p>	<p>○写真や児童にとってなじみ深いキャラクターや有名人が用いられており、児童の意欲を高めたり、具体的にイメージをもたせたりすることができるよう工夫されている。（5年p. 17、p. 40）</p> <p>○二次元コードからウェブサイトにもアクセスできるようになっており、イラストをタッチすると語句の音声の流れたりイラストマッチングゲームをしたりできるようになっている。</p>	<p>○「Hello, World!」では、世界のスポーツやまつり等が紹介され、世界に目を向けるよう工夫されている。（5年p. 50-51, 6年p. 20-21, 62-63, 92-93）</p> <p>○「ABC Fun Box」ではアルファベットの点つなぎや英語の歌等、文字や音声に親しめるよう工夫されている。（5年p. 22-23, 36-39, 62-63, 102-103, 6年p. 32-33, 52-53, 102-103）</p>	<p>○算数や理科での学びと関連がある箇所にマークがあり、他教科での学びをいかすよう工夫されている。（6年p. 50, 59, 97）</p> <p>○今日的な課題への関心を高めるため、教育やまちづくり等SDGsへの理解を深めることができる題材が用意されている。（5年p. 80, 6年p. 10, 62-63）</p>	<p>○「ケン」の冒険や「世界のおはなし」という心を動かす物語が「Story Time」として設定されており、物語を通して知っている語句や絵から内容を推測する力が養えるようになっている。</p> <p>○单元ごとのふり返りがあり、児童がついた力を自覚できるようになっている。</p>	<p>○中学校との連携を意識して、6年生の最終Lessonは「中学生になったらどんなことがしたいか」という話題が扱われている。</p> <p>○書く活動の見本が書く欄の上に配置されていたり、視覚への刺激が少ない淡い色使いがされていたりする等、特別支援教育への配慮がなされている。（5年p. 15, 6年p. 15）</p>
F	<p>○各学年の教科書の総ページ数及びLesson数は、5年9Lesson, 116ページ、6年8Lesson, 108ページである。</p> <p>○教科書冒頭には、学びの見通しが立てやすいロードマップがあり、中学年から高学年、そして中学校への学びの連続性を自覚できるつくりになっている。</p>	<p>○「することができ」という内容を動物を通して考える工夫がされており、児童が考えやすい構成になっている。（5年p. 55）</p> <p>○Lessonごとに、目指す姿、振り返りを記入する欄が設けられており、学習にどう取り組む、どのような力をも身につけたいかイメージをもちながら学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○児童にとってなじみ深いキャラクターや有名人が用いられ、児童の意欲を高めたりイメージをもたせたりすることができるよう工夫されている。（5年p. 20, 25, 33, 56, 99）</p> <p>○活動シール、カード、ワークシート等巻末教材が充実しており、児童の表現意欲を引き出すことができるよう工夫されている。（5、6年巻末）</p>	<p>○「知らない英語の言葉に出会ったら」では、和英辞典の使い方が紹介され、発展的な学習につながるよう工夫されている。（6年p. 99）</p> <p>○既習内容を振り返るLet's Start Togetherやアルファベットの学習に関する点つなぎ等、文字や音声に親しみ、ステップアップできるよう工夫されている。（5年p. 6-11, 28, 6年p. 6-9）</p>	<p>○災害時の対応に関する表現が紹介されており、実生活につなげた練習ができるよう工夫されている。（5年p. 40）</p> <p>○Let's Look at the Worldでは、アメリカの手話を扱っており、コミュニケーションの手話は多様であることに気づけるよう工夫されている。（5年p. 87）</p>	<p>○日本の名所・名物を示した地図の折り込みがあり見やすいよう工夫されている。（5年p. 66-69）</p> <p>○Let's SingやLet's Watchの動画等、児童自ら課題に応じて学習できるようにデジタルコンテンツを充実させている。（6年p. 70, 72）</p>	<p>○ゴールの活動にワークシートを使用することで、児童が自分の学びを実感でき、達成感と表現意欲を高められるよう工夫されている。（6年巻末）</p> <p>○インクルーシブ教育を意図した登場人物や題材が扱われている。（5、6年表紙、6年p. 10-11）</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

外国語 No. (3)

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○「5(6)年生でできるようになること」では、領域ごとに自己評価できるよう工夫されている。(p.8-9)</p> <p>○Let's tryやPlus oneでコミュニケーション活動をした後、Let's write and readで書く活動に取り組めるよう工夫されている。(6年p.67)</p> <p>○各学年のUnit数は8、総ページ数は、110ページである。</p>	<p>○自分や友達のことを知ることから地域のことへと広がりのある構成になっている。(5年)</p> <p>○ページの下部に「発音」のコーナーがあり、発音のポイントを示している。(5年p.60)</p> <p>○聞こえてきたものをPicture Dictionaryから探す活動が設定されている。(5年p.17)</p>	<p>○児童に親しみのある人物を取り上げている。(5年p.59, 6年p.17)</p> <p>○迷路を使ってアルファベットに親しんだり、3ヒントクイズを聞き取ったりと興味・関心を高めるよう工夫されている。(5年p.34-35, 6年p.45, 53)</p> <p>○家でしていることや夏休みにしたこと等、身近な話題からコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。(6年p.32-51)</p>	<p>○地域素材を生かしたコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。(5年p.87, 95-97)</p> <p>○「いつもたいせつ」で、常に相手意識を持ったコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。(6年p.10)</p>	<p>○「言葉について考えよう」では、国語とも関連させながら、語順やスピーチの仕方が取り上げられている。(6年p.60, 82)</p> <p>○学校行事を活用してコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。(6年p.84-91)</p>	<p>○ICTの活用場面のイラストや「ICTを活用しよう」のコーナーがあり、端末活用できるよう工夫されている。(5年p.36, 49)</p> <p>○別冊でPicture Dictionaryが付けられており、単語を探したり、四線に書き写したりできるよう工夫されている。</p>	<p>○単元の流れやゴールが示されており、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。(各Unitの最初のページ)</p> <p>○SDGsや障がい者、高齢者等が取り上げられており、今日的課題や多様性に触れられるよう工夫されている。(5年p.42, 6年p.58, 5年p.68-69)</p>
K	<p>○各学年の最初にPre Unitがあり、既習事項を思い出しやすいよう工夫されている。</p> <p>○ChantやActivityで表現に親しんだ後、書く活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各学年のUnit数は8、総ページ数は132ページである。</p>	<p>○Chantでは、アクセントが明記されており、リズムに乗りやすいように工夫されている。(5年p.27)</p> <p>○Look Backで、できるようになったことを振り返るだけでなく、どんな場面で使いたいか考え、実生活に生かせるよう工夫されている。(6年p.100)</p>	<p>○児童にとって身近な有名人を取り上げている。(6年p.60-68)</p> <p>○自分の体験や身近な話題からコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。(6年p.50-53)</p> <p>○Did you know?で、異文化にふれたり、日本の文化と外国との関わりを知ったりできるよう工夫されている。(6年p.34, 58)</p>	<p>○車椅子ユーザーや男性の育児参加等が取り上げられ、多様性やジェンダーへの配慮がある。(5年p.46-47)</p> <p>○自分たちの住む地域をさらによくするアイデアを考えられるよう工夫されている。(6年p.43)</p> <p>○「コミュニケーションで大切なこと」で、相手意識をもったコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。</p>	<p>○建物の名前と一緒に地図記号も書かれており、社会科との関連を図ることができるよう工夫されている。(5年p.82-85)</p> <p>○学校行事を活用してコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。(6年p.70-77)</p>	<p>○巻末にWord Listが付けられており、単語を探したり、書き写したりする際に活用できるよう工夫されている。</p> <p>○ページ番号に英語が併記されており、文字とのつながりが意識できるよう工夫されている。</p>	<p>○各活動に二次元コードがあり、個別の学習ができるように工夫されている。</p> <p>○単元の最初にその単元の流れとゴールが示されており、見通しが持てるようになっていく。</p> <p>○SDGsや障がい者、男性の家事・育児参加等が取り上げられており、今日的課題や多様性にふれられるよう工夫されている。(5年p.46-47, 103, 6年p.49)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. (1)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 道徳の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 教科横断的及び学校行事等とのつながりへの工夫	6. その他	
A	<p>○道徳的価値に迫る場面で、イメージしやすいようなイラストがレイアウトを工夫して掲示されている。また、人物の心情を説明する文言が削減され、児童の多様な考え方を引き出せるように配慮されている。</p> <p>○標準の35時間分の教材に「つながる・広がる」としてコラムや考える場面設定が提示してあり、児童の実態に合わせて指導できるよう工夫されている。</p>	<p>○各学年とも、いじめ防止にかかわる内容が「いじめ」「いのち」「じぶん」という3つのユニットで構成されており、繰り返しいじめの防止について考えることができるよう工夫されている。</p> <p>○「ヒヤリ・ハット」では、実際に起こりそうな事故を予想する活動を通して価値にせまることができるよう工夫されている。(4年 p. 24)</p>	<p>○低学年の教材を中心に大判の写真やパズル等児童の興味を引くような教材を扱っている。</p> <p>○朗読や字幕付きスライドショー、デジタルノートが利用できる二次元コードが全教材についており、児童の関心を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○「愛華さんからのメッセージ」では、島根県出身の児童が書いた本をとりあげ、島根の児童の興味を高めている。(6年p. 104)</p> <p>○高学年の「いじめ」について考えようでは、法律や条約を提示し、児童の見方や考え方を広げられるよう配慮されている。(6年p. 36)</p>	<p>○「ふっかちゃんの町じまん」では日本各地のキャラクターも紹介されており、自分の県に興味をもち、社会科等と関連させて学習できるよう工夫されている。(3年 p. 20)</p> <p>○教材末に「つながる・広がる」として、他教科と関連付け、発展的な学びを促すよう工夫されている。</p>	<p>○思考ツールの紹介のほか、デジタルコンテンツの1つに「心のメーター」が利用できるようになっており、4年生以上には心情円が付属しており、考えを可視化することで、児童が多様な考え方があることを気づくような配慮がされている。</p>	<p>○いじめ防止にかかわる内容が「いじめ」「いのち」「じぶん」の観点ごとのユニットで構成されている。各ユニットを1年間の適時に担当し、いじめ防止について多面的に繰り返し考えられるよう工夫されている。</p> <p>○教材末に「つながる・広がる」を配置し、他教科と関連付け、発展的な学びを促すよう工夫されている。</p>
F	<p>○内容項目を充足する本教材30本の他、5本の補充教材が掲載されており、学校独自のカリキュラムが作れるよう工夫されている。</p> <p>○高学年の教材に出てくる難しい言葉の多くについて、直接教材文の下に目立つように注釈を設けてあり、内容理解がしやすいよう配慮されている。</p>	<p>○各学年とも役割演技や動作化に取り組むように投げかけたり、自分だったらどうするかと問いかけたりと、課題について自分事として考えられるよう工夫されている。</p> <p>○教材末の学習の手引きには、場面発問とテーマ発問の二つの発問が示されており、児童が多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○今話題の人物等をとってあげ、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。特に高学年で7-9人の人物をとってあげ、生き方から学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年の教材には、写真やグラフ、図表等を多く使い、興味・関心を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○低学年の巻末には「みにつけようれいぎ・マナー」の資料が掲載されており、身につけていきたいよりよいふるまいについて紹介されている。(1年p. 150, 2年 p. 148)</p> <p>○各学年に「モラルスキルトレーニング」を取り入れた教材が設定されており、体験を通して人としての行動について考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各学年で重点テーマを設定し、「教材+コラム」の構成をユニット化し、学びを広げることができるようにしている。</p> <p>○高学年教材では、LGBTQについて考えるきっかけとなりうる教材を配しており、偏見をたず差別をしない心の育成に配慮されている。(6年p. 50)</p>	<p>○巻末の「学習をふり返ろう」「一年間の学習をふり返ろう」のページは、切り離せるようになっており、学期ごとの評価、一年間の評価に活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○低学年の巻末には「みにつけようれいぎ・マナー」の資料が掲載されており、身につけさせたいふるまいについて紹介されている。(1年p. 150, 2年 p. 148)</p> <p>○学習の手引きに、場面発問とテーマ発問が提示されたり、役割演技や動作化の活動を多く取り入れたり、多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. (2)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 道徳の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 教科横断的及び学校行事等とのつながりへの工夫	6. その他	
I	<p>○「学びの道具箱」で発達の段階に応じた対話や思考の整理の方法を紹介するとともに、それらを活用した学びが提示され、児童が多面的・多角的に思考したり対話したりできるように工夫されている。</p> <p>○巻頭で道徳の学びの全体像をイラストで示し、一年間の学びの見通しをもたせている。</p>	<p>○「心をかよわそう」等では、話合いの仕方や友達との接し方を学べるよう工夫されている。(2年p. 34, 6年p. 78)</p> <p>○段階的に話合いの力を育ていけるよう、対話スキルを高める活動に繰り返し取り組むように構成され、高学年では対話をもとに納得解を見いだす経験ができるように工夫された教材が掲載されている。</p>	<p>○全学年で美しく迫力のある挿絵や写真を用いた教材や漫画形式の教材が掲載され、視覚的に関心を喚起できるよう工夫されている。</p> <p>○「夢を実現するためには」では、夢を叶えた野球選手が夢の実現のためにしたことを具体的に掲載し、児童も共感的に学習できるよう工夫されている。(5年p. 16)</p>	<p>○日本語に不慣れな児童の支援となるよう「学校で使う日本語」を文字と音声で確認できるデジタルコンテンツが利用できるようになってきている。</p> <p>○巻末に、日本各地の伝統文化や地域の活動が紹介されている。島根県の石州和紙が掲載されており、自分の住む地域のよさに気づかせる発展的な学びとして活用できるようになっている。(3年p. 174)</p>	<p>○情報モラル等に関するコラムには「家の人といっしょに考えてほしいこと」のマーク、環境や共生を扱ったコラムには「夏休み・冬休みに調べてみよう」のコーナーがあり、家庭・地域での自主的な学びにつなげられるよう工夫されている。</p> <p>○「わたしたちの校歌」では、音楽や国語等、他教科につなげることができるよう工夫されている。(4年p. 88)</p>	<p>○全学年を通して「なんだろうなんだろう」という見開きのページを設け、発達の段階に合わせたテーマで考えを深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○思考ツールや対話スキルを活用することで、多面的・多角的に考え、協働して問題解決に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○迫力があり美しい写真や挿絵をダイナミックに配し、児童の関心を高めたり、感性に訴えたりする効果を生み出すよう工夫されている。</p>
L	<p>○発達段階に合わせ、各学年ごとに文章量や発問数、挿絵等が配慮されている。</p> <p>○35週(1年34週)分の主教材に加え、他に3教材が収められており、自主学習にも活用できる。</p>	<p>○いじめ防止ユニットとして、年間3回のいじめを題材にした教材が設定されている。</p> <p>○様々な人々の生き方を教材として取り上げ、児童が自分の生き方について考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○文学、スポーツ、芸術等、幅広いテーマや身近な生活場面が教材として取り上げられている。</p> <p>○全学年・全教材に「教科書QRコンテンツ」がついており、教材に関連した音声、動画、アニメーション等が視聴できる。</p>	<p>○平和・人権教育やキャリア教育、SOGs、情報モラル等、現代的・社会的課題について学ぶことができる教材が豊富に掲載されている。</p> <p>○ねらいに近づける深い学びを実現するために、問題解決型の学習や多様な実践活動を生かした学習が例示されている。</p>	<p>○道徳科の学びが日常生活に生かされるようコラムが掲載されている。また、全学年を通して共通のコラムを設定し、豊かな人間関係を養い自己肯定感を高め、自分の生き方について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に「見つけた！ここにも道徳」を設け、身の回りの生活から自分がよいと思う道徳的価値に気づくヒントが記載されている。</p>	<p>○別冊「道徳ノート」がついており、媒体も紙かデジタルが選択でき、個々の学びをサポートしている。</p>	<p>○全学年を通して、いじめ防止や主体的・対話的で深い学びの観点から自己肯定感の向上につながる教材が重視され配置されている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」を活用することで、児童の考える、話す、聞く、書く活動が促される。また、教師も児童の成長や学習状況を把握しやすく、指導や評価の参考にできる。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. (3)

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容, 程度, 分量等	2. 題材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 道徳の特性, 地域の実態や課題への適合等	5. 教科横断的及び学校行事等とのつながりへの工夫	6. その他	
0	<p>○全学年を通して、巻頭「ゆたかなこころ」でオリエンテーションを行い、「なりたい自分」や「学習の流れ」等について児童に詳しく説明している。</p>	<p>○児童に特に考えさせたい内容が、「いじめ」、「命」、「学年独自課題」の3つの重点課題として設定されている。</p> <p>○多面的・多角的に考えを深めることができるよう、発達段階に応じて「吹き出し」や「ウェビング」、「クラゲチャート」等の思考ツールが掲載されている。</p>	<p>○一枚絵や迫力のある写真、漫画、実話等、多様な表現方法を取り入れ、児童の興味・関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○教材によってはデジタルコンテンツが用意され、教材理解をサポートして学習効果を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○「生命の尊厳・自然」、「人との共生」、「情報モラル」等の現代的課題を自分のこととして考えられる教材が多く掲載されている。</p> <p>○島根県の地域教材が掲載されている。 (5年p. 48-51)</p>	<p>○道徳科の学びが日常生活に生かされるよう、教材によってコラムが掲載されている。また、全学年を通して共通のコラムを設定し、豊かな人間関係を養い自己肯定感を高め、自分の生き方について考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻末には学習の記録を積み重ねて記入する「学びの足あと」が記載され、自分の成長を実感して新たな目標に向かって取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○「いじめを生まない心」と「生命の尊重」については、発達段階を踏まえ6年間を通して重点的に学べるように設定されている。</p> <p>○「学年独自課題」を設け、発達段階に応じて「人間」「人間関係」をテーマに学んで行けるように設定されており、児童が多面的・多角的に深く考えられるように、複数時間構成で扱っている。</p>
P	<p>○「いのち」を最重点テーマとして、生命尊重の教材が全学年3本掲載されている。</p> <p>さらに、「いのち」の学習を土台にした「いじめ防止」に関する教材が年間を通してバランスよく配置されている。</p>	<p>○「いのち」「多様性」「キャリア」の3つテーマには、複数教材を組み合わせたユニット教材が用意されており、多面的・多角的に考えを深めていくことができるよう工夫されている。</p> <p>○教材の最後に発達段階に合わせ、道徳的価値について考えさせる発問と自分の生き方を考えさせる発問が掲載されている。</p>	<p>○今を生きる人物や記憶に新しい出来事等、児童が関心を持って意欲的に取り組める教材が多数掲載されている。</p> <p>○教材によっては、二次元コードでインターネット上の補助教材にアクセスでき、動画やクイズ形式の教材等、児童の学びの幅を広げ考えが深められるよう工夫されている。</p>	<p>○「ふかめよう」の特設ページを設け、3つのステップからなる問題解決型の学習を通して、道徳的価値について多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>○島根県の地域教材が掲載されている。 (4年p. 76-79)</p>	<p>○「こころのパスポート」の特設ページを設け、教材の関連情報を掲示し、多様な学びに展開していけるよう工夫されている。</p>	<p>○一冊の教科書にストーリー性を持たせ、巻末の「つなげよう広げよう」のページでは、一年の成長を振り返ると共に次年度につなげられるよう工夫されている。</p>	<p>○問題意識を高めるために「キーフレーズ」を入れたり、現代的な課題に意識を向けて向き合うためにマークを作成したりする等、児童の考えを引き出すよう工夫されている。</p> <p>○今考えるべきテーマや児童の関心が高い人物や話題を豊富に教材に取り入れ、意欲を持って主体的に取り組んで学びを深められるよう工夫されている。</p>